

**総合計画策定に関する
市民アンケート調査結果報告書**

平成16年

南アルプス市役所企画部企画課

目次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査仕様	2
4. 回収結果	2
5. その他特記事項	3
調査結果	4
F 1 性別	4
F 2 年齢	5
F 3 家族構成	7
F 4 職業	9
F 5 通勤・通学地	11
F 6 お住まい	12
F 7 居住年数	13
問1 南アルプス市が誇れる魅力	14
問2 南アルプス市の将来像	16
問3 市の情報を得る方法	17
問4 地域（区や組等）の役割について	18
問5 参加したい活動	20
問6 市民がまちづくりに参加するために必要なこと	22
問7 市民が幸せに暮らすために充実すべきこと	23
問7 - ア 健康づくりに関すること	23
問7 - イ 母子・児童福祉に関すること	24
問7 - ウ 高齢者福祉に関すること	25
問7 - エ 障害者福祉に関すること	26
問8 地域の環境を良好にするために市が力を入れるべきこと	27
問9 防災対策について進めて欲しいこと	28
問10 生涯学習活動に参加する上で市に望むこと	29
問11 スポーツ活動について市に望むこと	30

問12	教育環境について市に望むこと	31
問13	市内の道路について望むこと	32
問14	水道事業について望むこと	33
問15	特に整備・充実して欲しいと思う公共的な施設	34
問16	土地利用と規制についての考え	36
問17	農地の保全と宅地の供給について	37
問18	力を入れるべき産業振興	38
問19	観光の振興を図るために市が力を入れるべきこと	39
問20	市の人口のあり方	41
問21	どのような方法で市政に参加したいか	42
問22	市政に対して特に力を入れるべきだと思う施策	43
問23	特に力を入れていくべき行政改革	45
問24	満足度	47
問24 - ア	満足度（居住環境）	47
問24 - イ	満足度（医療・福祉）	49
問24 - ウ	満足度（安全）	50
問24 - エ	満足度（教育・地域活動）	51
問24 - オ	満足度（行政情報）	53
問24 - カ	満足度（行政サービス）	54
参考資料	総合計画策定に関する市民アンケート調査票	1

調査の概要

1. 調査の目的

平成 15 年（2003 年）4 月 1 日に八田村、白根町、芦安村、若草町、櫛形町及び甲西町の 6 町村が合併し、南アルプス市が誕生してから半年が経過した。

新市においては、市民の参画による市政の推進と行政サービスの向上を実現するため、今年度と来年度をかけて、平成 17 年度から平成 26 年度までの 10 力年のまちづくりの礎となる「南アルプス市総合計画」の策定に着手した。

この総合計画策定にあたり、市民のニーズ・意見を十分に把握し、かつ、反映させるため、本アンケート調査を実施した。

2. 調査の内容

設問分野	設問数	調査内容
回答者の属性	7	性別、年齢、家族構成、職業、通勤（通学地）、住居の所在地区（旧町村単位）、居住年数
南アルプス市の魅力	2	市の魅力、イメージする将来像
市政に関すること	20	市政の情報源、地域活動、市民参加、医療・福祉、環境保全・防災、生涯学習・学校教、公共施設の整備、土地利用、産業振興
これからのまちづくり	4	人口、市政への参加意向、重点施策、行政改革
市民の満足度	30	居住環境、医療・福祉、安全、教育・地域活動、行政情報、行政サービス

3. 調査仕様

【仕様項目】	【仕 様】
調査地域	南アルプス市全域
調査対象者	市内に在住する 18 歳以上の男女
調査基準日	平成 15 年 9 月 1 日現在
標本数	2,000 人
抽出方法	2,000 人 / 層化二段無作為抽出法 (市内を旧 6 町村に分割し、基準日における各地区の人口(母集団)の大きさに応じ標本数を配分し、住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成 15 年 10 月 6 日～同年 10 月 31 日

* 旧 6 町村に基づく 6 つの地区とは、八田地区、白根地区、芦安地区、若草地区、櫛形地区及び甲西地区である。

図表 I - 1 人口と発送数の内訳

	1.八田	2.白根	3.芦安	4.若草	5.櫛形	6.甲西	合計
人口	7,296	19,565	516	11,818	19,345	13,118	71,658
構成比	10.2%	27.3%	0.7%	16.5%	27.0%	18.3%	100.0%
発送数	223	514	63	330	509	361	2,000
構成比	11.2%	25.7%	3.2%	16.5%	25.5%	18.1%	100.0%

* 旧 6 町村の人口は平成 15 年 9 月 1 日現在

4. 回収結果

有効回答 859 件 (回収率 43.0%)

図表 I - 2 回収数の内訳

	1.八田	2.白根	3.芦安	4.若草	5.櫛形	6.甲西	不明	合計
票数	76	219	24	135	225	150	30	859
構成比	8.8%	25.5%	2.8%	15.7%	26.2%	17.5%	3.5%	100.0%

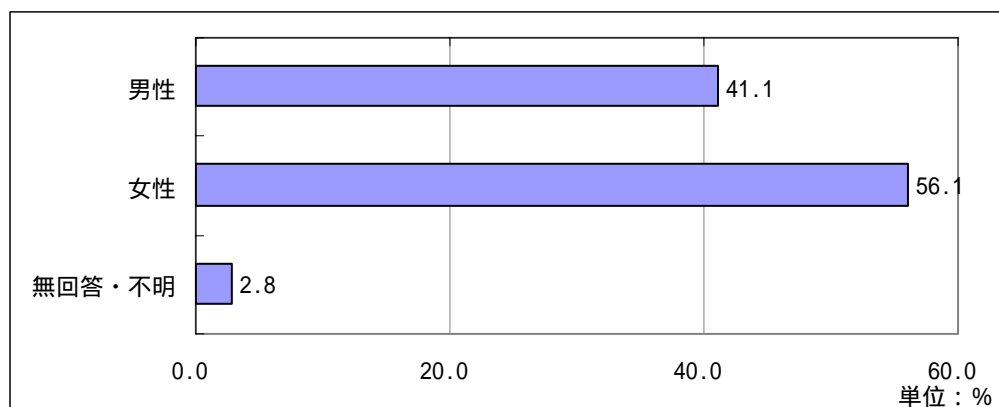
5 . その他特記事項

- * 集計結果は百分率（％）で表示をした。本文および図表は、小数点第 2 位を四捨五入した結果、合計数値が 100％にならない場合がある。
- * 本文中の（N）は回答者総数を示す。回答を得られなかった回答者は（不明）として示した。
- * 本文中のデータ数字は、巻末添付の集計資料を参照。

調査結果

F 1 性別

図表 F 1 - 1 性別 (S A)(N=859)



[調査結果]

回答者に性別を尋ねたところ、「男性」は 41.1%、「女性」は 56.1%であった。なお、「無回答・不明」が 2.8%あった。

アンケート調査の対象者抽出にあたり、平成 15 年 9 月 1 日現在の南アルプス市の人口における性別構成（男性 49.3%、女性 50.7%）を基に、2,000 人（男性 49.1%、女性 50.9%）を抽出した。回収数の構成は「無回答・不明」（2.8%）を除いた数値ではあるが、人口構成と比べて、男性は 8.2 ポイント少なく、女性は 5.4 ポイント多い。

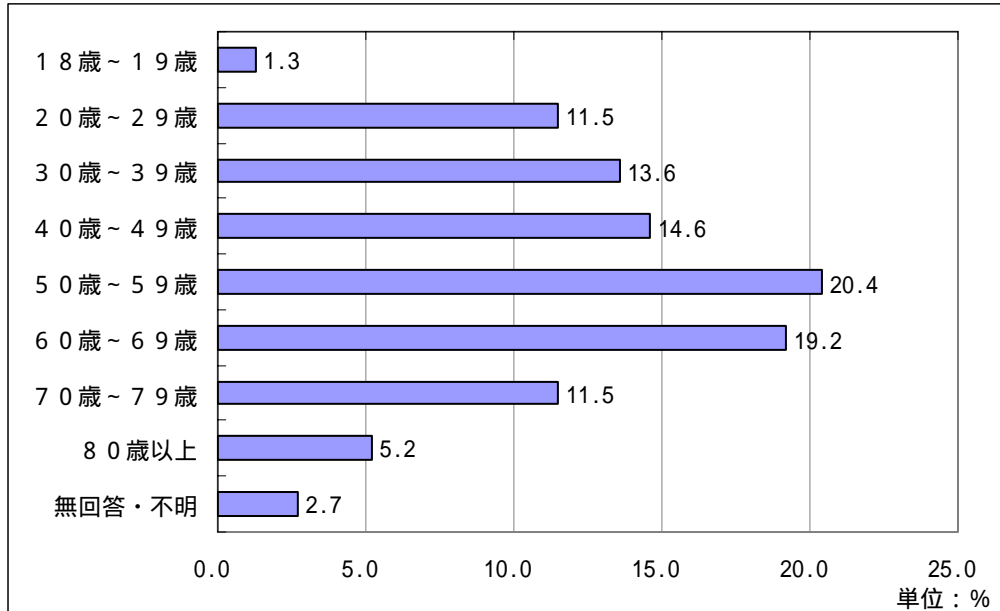
図表 F 1 - 2 アンケート対象者抽出過程における性別構成（単位：%）

	人口構成(A)	発送数の構成	回収数の構成	(A)との格差
男性	49.3%	49.1%	41.1%	8.2
女性	50.7%	50.9%	56.1%	5.4

* 人口は平成 15 年 9 月 1 日現在

F 2 年齢

図表 F 2 - 1 年齢 (S A) (N = 859)



[調査結果]

回答者に年齢を尋ねたところ、全体では「50歳～59歳」(20.4%)が最も多かった。次いで、「60歳～69歳」(19.2%)、「40歳～49歳」(14.6%)、「30歳～39歳」(13.6%)、「20歳～29歳」及び「70歳～79歳」(同率で各11.5%)、「80歳以上」(5.2%)、「18歳～19歳」(1.3%)の順であった。なお、「無回答・不明」が2.7%あった。

性別で見ると、男性では「60歳～69歳」(23.5%)が最も多かった。これは、全体では最も多かった「50歳～59歳」(17.3%)よりも年代がひとまわり高い。

次いで、「30歳～39歳」(15.6%)、「70歳～79歳」(14.4%)、「40歳～49歳」(13.6%)、「20歳～29歳」(11.3%)、「80歳以上」(3.4%)、「18歳～19歳」(0.8%)の順であった。

女性では「50歳～59歳」(23.7%)が最も多かった。次いで、「60歳～69歳」(16.8%)、「40歳～49歳」(16.0%)、「30歳～39歳」(12.9%)、「20歳～29歳」(12.2%)、「70歳～79歳」(10.0%)、「80歳以上」(6.8%)、「18歳～19歳」(1.7%)の順であった。女性は全体とほぼ同じ傾向であった。

【参考】

平成 15 年 11 月 1 日現在の南アルプス市の人口は、71,898 人である。このうち、今回のアンケート調査の母集団である「18 歳以上の人口」は 57,310 人であり、これは全人口の 80.8%にあたる。

今回のアンケート調査に「回答者の年齢別構成比（A）」は以下のとおりである。これを『「18 歳以上の人口」に占める各年齢人口の構成比（B）」と比較してみた。

図表 F 2 - 2 回答者の年齢別集計と全人口に対する構成比との比較

年齢	回答者の割合（A）	18 歳以上人口に占める割合（B）	試算：対比 (A) ÷ (B) × 100
18～19 歳	1.3%	3.0%	43.3%
20～29 歳	11.5%	15.0%	76.7%
30～39 歳	13.6%	17.2%	79.1%
40～49 歳	14.6%	16.1%	90.7%
50～59 歳	20.4%	18.0%	113.3%
60～69 歳	19.2%	13.0%	147.7%
70～79 歳	11.5%	10.7%	107.5%
80 歳以上	5.2%	6.8%	76.5%
無回答・不明	2.7%	-	-
合計	100.0%	100.0%	-

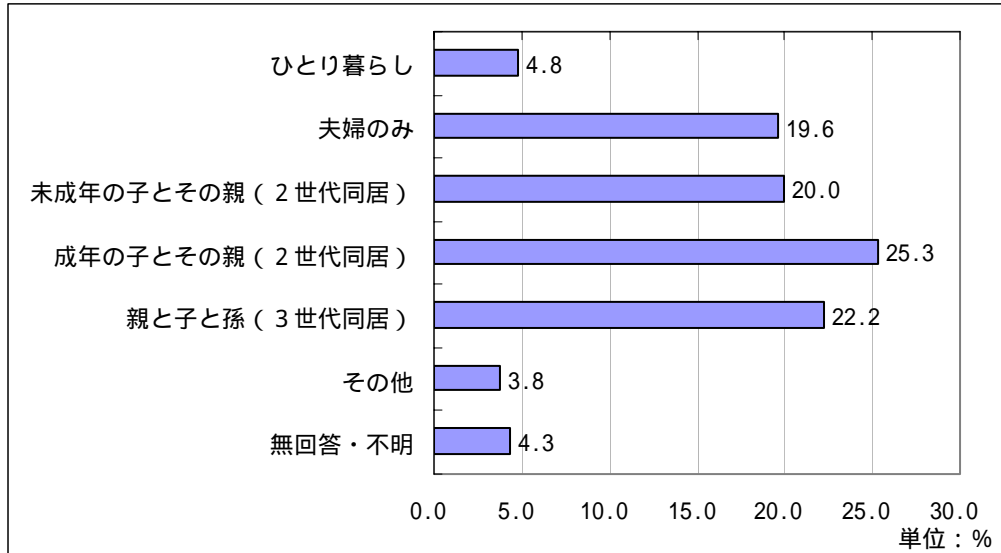
小数点以下第 2 位で四捨五入しているため、各項目の数値の総和が合計と一致しない場合がある。

試算数値が最も少ないのは「18～19 歳」（43.3%）である。「20～29 歳」（76.7%）から「60～69 歳」（147.7%）までは試算値が多くなっていく。「70～79 歳」は、試算値のピークである「60～69 歳」（147.7%）ほどは多くないものの 107.5%で『「18 歳以上の人口」に占める各年齢人口の構成比（B）」を上回る回答が寄せられた。

「80 歳以上」では、試算値が 100.0%を下回っているが、これは高齢に伴う健康状態・身体状態の悪化を勘案しなければならない。

F 3 家族構成

図表 F 3 家族構成 (S A) (N=859)



[調査結果]

回答者に家族構成を尋ねたところ、全体では「成年の子とその親(2世代同居)」(25.3%)が最も多かった。次いで、「親と子と孫(3世代同居)」(22.2%)、「未成年の子とその親(2世代同居)」(20.0%)、「夫婦のみ」(19.6%)、「ひとり暮らし」(4.8%)、「その他」(3.8%)の順であった。なお、「無回答・不明」が4.3%あった。

性別における大きな差異はなく、男女とも全体とほぼ同じ傾向であった。

年齢別にみると、「18歳～19歳」では、90.9%が親・家族との同居で最も多く、残り9.1%は「一人暮らし」であった。

「20歳～29歳」では、「親との同居」が51.5%を占めていた。また、自らが結婚している者で「夫婦のみ」が15.2%、「未成年の子とその親(2世代同居)」が19.2%であった。「ひとり暮らし」は4.0%であった。

「30歳～39歳」及び「40歳～49歳」では「未成年の子とその親(2世代同居)」(30歳～39歳：52.1%、40歳～49歳：40.0%、全体：20.0%)が最も多く、「夫婦のみ」(30歳～39歳：11.1%、40歳～49歳：8.8%、全体：19.6%)が少ない点では同じであった。しかし、「親と子と孫(3世代同居)」については、全体の22.2%に対して、「30歳～39歳」が12.0%と10.2ポイント少ないのに対して、「40歳～49歳」は32.0%と逆に9.8ポイント多かった。これは、自らの親の年齢が主要因といえる。

「50 歳～59 歳」では、「成年の子とその親（2 世代同居）」（38.3%、全体：25.3%）が最も多かった。次いで、「夫婦のみ」（23.4%、全体：19.6%）「親と子と孫（3 世代同居）」（18.9%、全体：22.2%）の順であった。

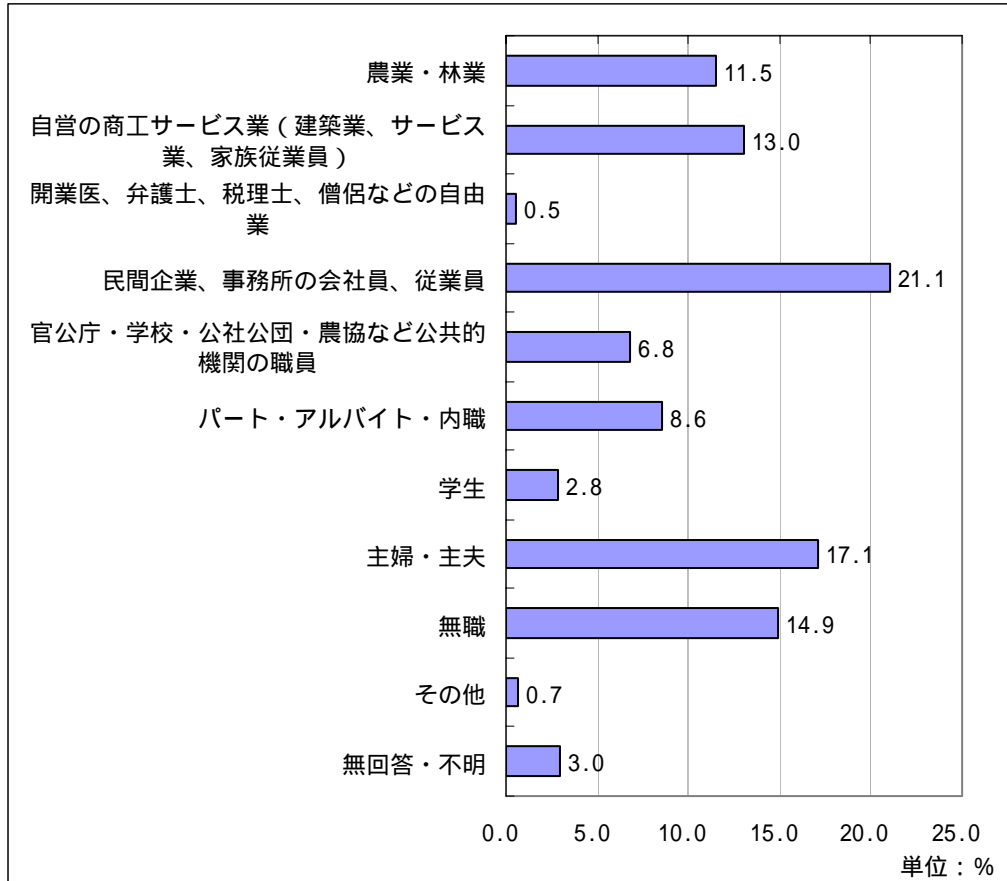
「60 歳～69 歳」では、「夫婦のみ」（35.8%、全体：19.6%）が最も多かった。次いで、「成年の子とその親（2 世代同居）」（30.3%、全体：25.3%）「親と子と孫（3 世代同居）」（17.6%、全体：22.2%）の順であった。

「70 歳～79 歳」では、「親と子と孫（3 世代同居）」（31.3%、全体：22.2%）が最も多かった。次いで、「夫婦のみ」（23.2%、全体：19.6%）「成年の子とその親（2 世代同居）」（20.2%、全体：25.3%）の順であった。

「80 歳以上」では、「親と子と孫（3 世代同居）」（51.1%、全体：22.2%）が最も多かった。次いで、「成年の子とその親（2 世代同居）」（22.2%、全体：25.3%）「夫婦のみ」（13.3%、全体：19.6%）の順であった。

F 4 職業

図表 F 4 職業 (S A) (N = 859)



[調査結果]

回答者に職業を尋ねたところ、全体では「民間企業、事務所の会社員、従業員」(21.1%)が最も多かった。次いで、「主婦・主夫」(17.1%)、「無職」(14.9%)、「自営の商工サービス業(建設業、サービス業、家族従業員を含む)」(13.0%)、「農業・林業」(11.5%)、「パート・アルバイト・内職」(8.6%)、「官公庁・学校・公社公団・農協など公共的機関の職員」(6.8%)、「学生」(2.8%)、「その他」(0.7%)、「開業医、弁護士、税理士、僧侶などの自由業」(0.5%)の順であった。なお、「無回答・不明」が3.0%あった。

性別で見ると、男性は「民間企業、事務所の会社員、従業員」(32.9%)が最も多かった。次いで、「自営の商工サービス業(建設業、サービス業、家族従業員を含む)」(17.8%)、「無職」(17.6%)、「農業・林業」(15.0%)の順であった。

女性は「主婦・主夫」(29.9%)が最も多かった。次いで、「パート・アルバイト・内職」

(14.1%)、「無職」(13.7%)、「民間企業、事務所の会社員、従業員」(13.5%)の順であった。

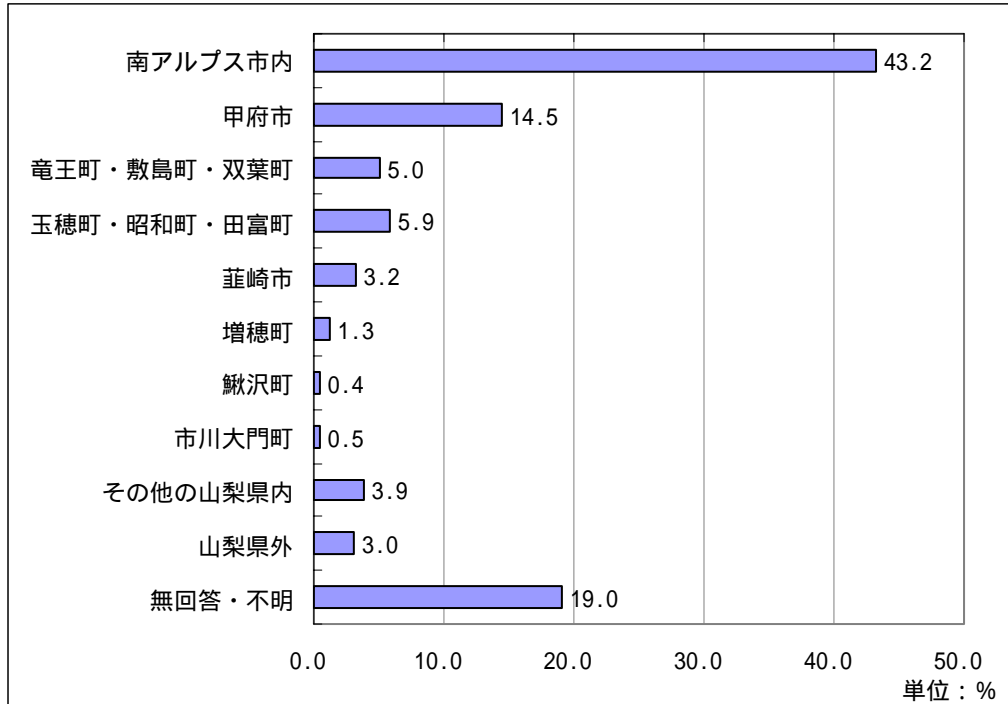
年齢別にみると、定年制が導入されている「民間企業、事務所の会社員、従業員」と「官公庁・学校・公社公団・農協など公共的機関の職員」では、「20歳～59歳」までが従業者の9割以上を占めていた。

60歳以上では「農業・林業」及び「無職」が多かった。

「パート・アルバイト・内職」は全体では8.6%であったが、「40歳～49歳」では21.6%と13ポイント多かった。

F 5 通勤・通学地

図表 F 5 通勤・通学地 (S A)(N=558)



[調査結果]

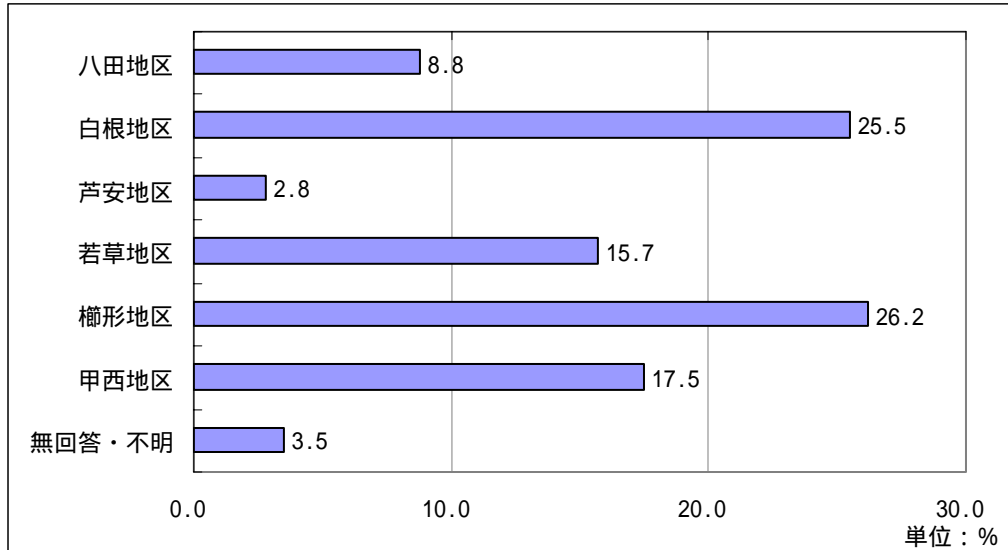
「F 4 職業」で「主婦・主夫」、「無職」、または、「無回答・不明」以外の回答者に通勤地（通学地）を尋ねたところ、全体では「南アルプス市内」（43.2%）が最も多かった。次いで、「甲府市」（14.5%）、「玉穂町・昭和町・田富町」（5.9%）、「竜王町・敷島町・双葉町」（5.0%）、「その他の山梨県内」（3.9%）、「韮崎市」（3.2%）、「山梨県外」（3.0%）、「増穂町」（1.3%）、「市川大門町」（0.5%）、「鯉沢町」（0.4%）の順であった。なお、「無回答・不明」が19.0%あった。

居住区別でみると、「南アルプス市内」が最も多いのは「芦安地区」（76.9%）であった。次いで、「白根地区」（51.0%）、「甲西地区」（44.7%）、「櫛形地区」（39.3%）、「若草地区」（36.7%）、「八田地区」（36.5%）の順であった。

市外の通勤地（通学地）で多かったのは「甲府市」で、最も多いのは「八田地区」（25.0%）であった。次いで、「若草地区」（20.4%）、「櫛形地区」（16.4%）、「白根地区」（10.2%）、「甲西地区」（7.8%）、「芦安地区」（7.7%）の順であった。

F 6 お住まい

図表 F 6 - 1 お住まい (S A) (N = 859)



[調査結果]

回答者に居住区を尋ねたところ、全体では「櫛形地区」(26.2%)が最も多かった。次いで、「白根地区」(25.5%)、「甲西地区」(17.5%)、「若草地区」(15.7%)、「八田地区」(8.8%)、「芦安地区」(2.8%)の順であった。なお、「無回答・不明」が3.5%あった。

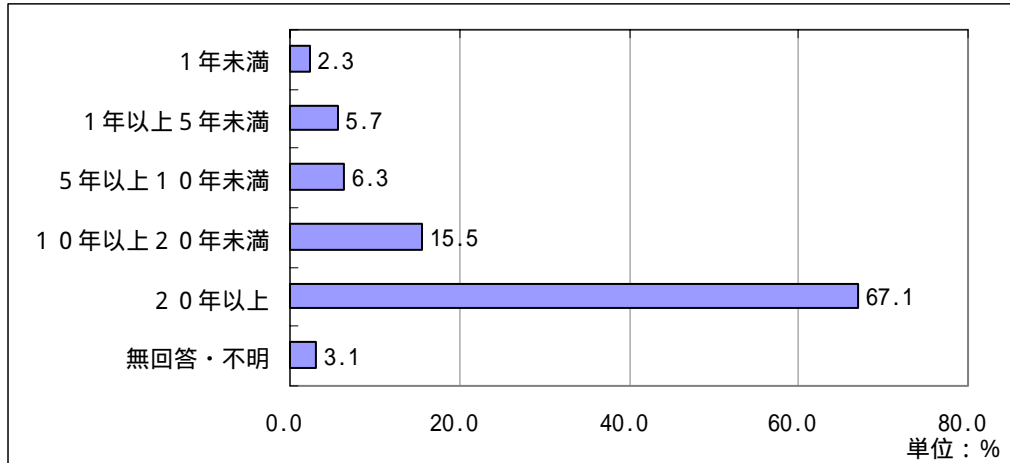
また、図表 F 6 - 2 居住区別人口と比較しても、その割合は概ね近似していた。

図表 F 6 - 2 居住区別人口 (平成 15 年 9 月 1 日現在、単位：人)

	八田	白根	芦安	若草	櫛形	甲西	合計
人口	7,296	19,565	516	11,818	19,345	13,118	71,658
構成比	10.2%	27.3%	0.7%	16.5%	27.0%	18.3%	100.0%

F 7 居住年数

図表 F 7 居住年数 (S A) (N=859)



[調査結果]

回答者に南アルプス市における居住年数（合併前の旧町村分を通算する。）を尋ねたところ、全体では「20年以上」（67.1%）が最も多かった。次いで、「10年以上20年未満」（15.5%）となり、この2つを合わせた「10年以上」が82.6%を占めた。

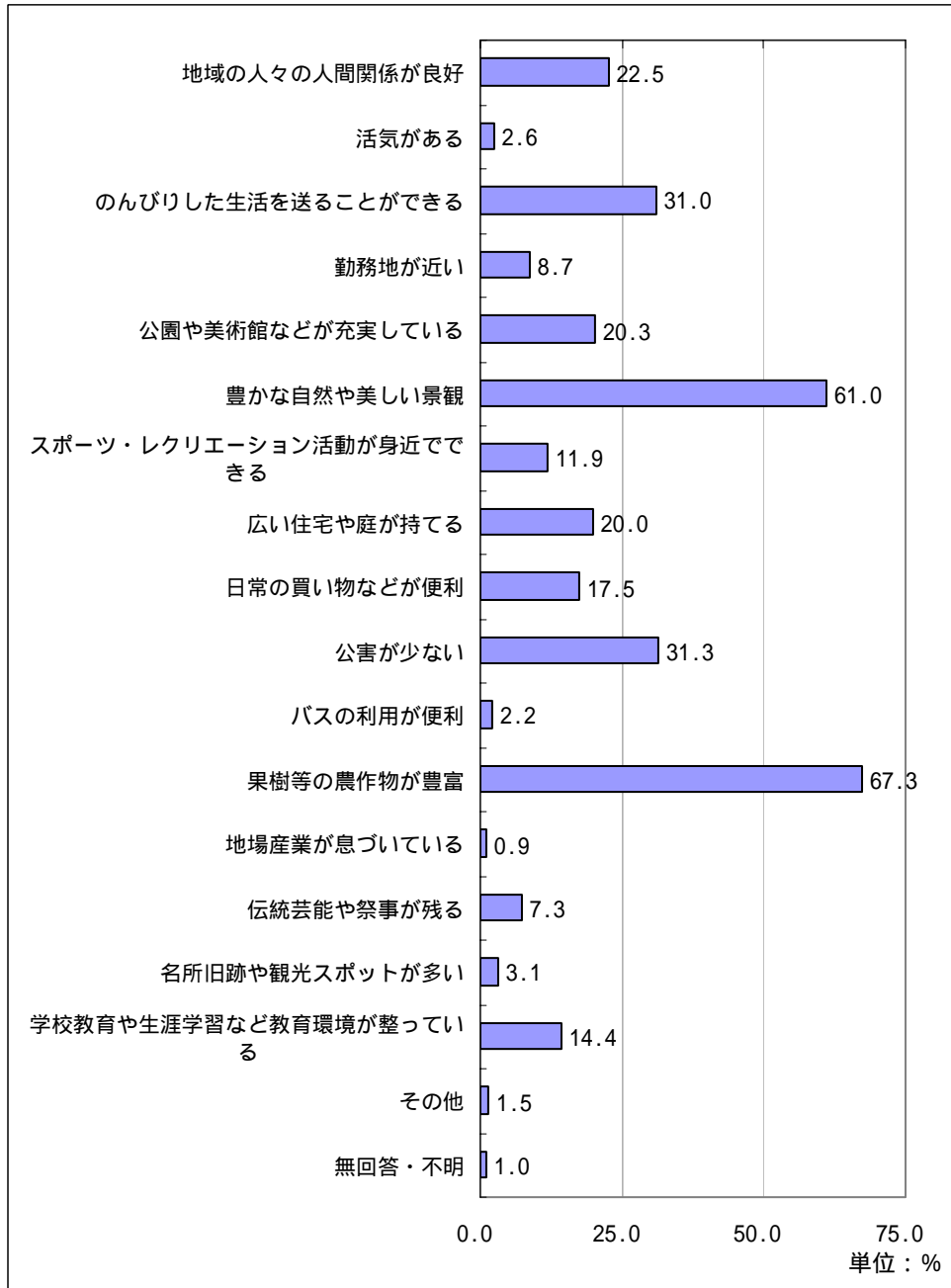
続いて、「5年以上10年未満」（6.3%）、「1年以上5年未満」（5.7%）、「1年未満」（2.3%）の順であった。なお、「無回答・不明」が3.1%あった。

居住地区別でみると、「1年以上5年未満」について全体では5.7%なのだが、「八田地区」では11.8%と6.1ポイント、「芦安地区」では20.8%と15.1ポイント多かった。

逆に「20年以上」について全体では67.1%なのだが、「芦安地区」では58.3%と8.8ポイント少なかった。

問1 南アルプス市が誇れる魅力

図表1 南アルプス市が誇れる魅力(MA)(N=859)



[調査結果]

「南アルプス市が誇れる魅力は何か」を複数回答で尋ねたところ、全体では「果樹等の農産物が豊富」(67.3%)が最も多かった。次いで、「豊かな自然や美しい景観」(61.0%)、「公

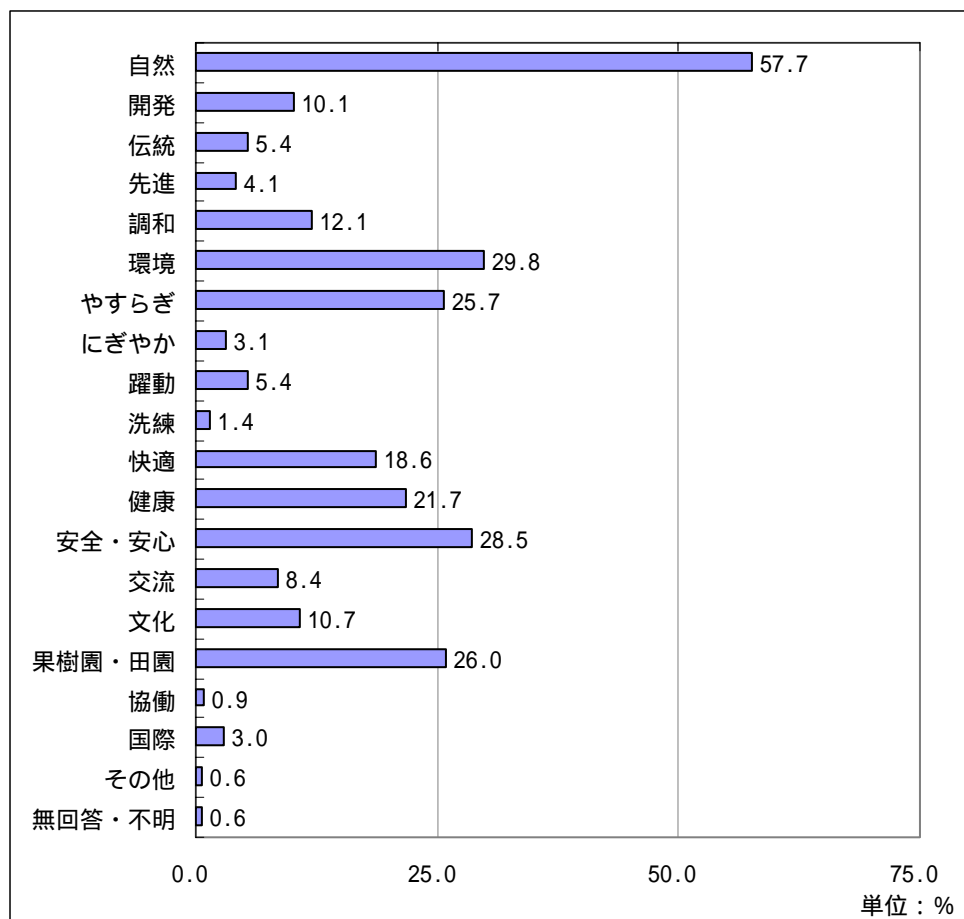
害が少ない」(31.3%)、「のんびりした生活を送ることができる」(31.0%)、「地域の人々の人間関係が良好」(22.5%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「地場産業が息づいている」(0.9%)であった。次いで少ない順に「その他」(1.5%)、「バスの利用が便利」(2.2%)、「活気がある」(2.6%)、「名所旧跡や観光スポットが多い」(3.1%)の順であった。

なお、無回答・不明が1.0%あった。

問2 南アルプス市の将来像

図表2 南アルプス市の将来像(MA)(N=859)



[調査結果]

南アルプス市の将来像として望むものを複数回答で尋ねたところ、「自然」(57.7%)が最も多かった。次いで、「環境」(29.8%)、「安全・安心」(28.5%)、「果樹園・田園」(26.0%)

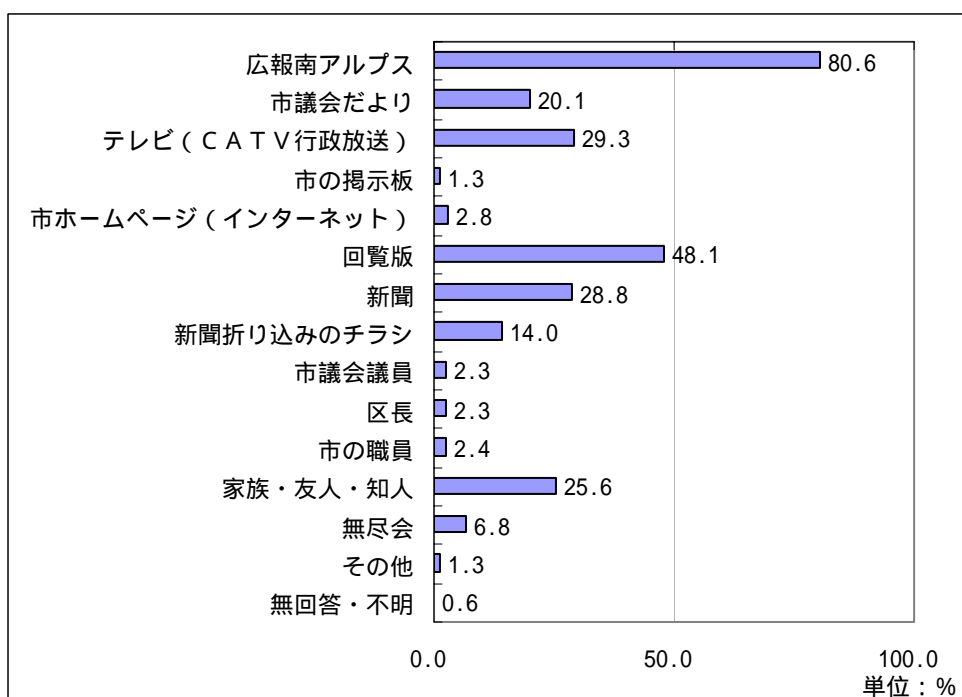
「やすらぎ」(25.7%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(0.6%)であった。次いで少ない順に「協働」(0.9%)、「洗練」(1.4%)、「国際」(3.0%)、「にぎやか」(3.1%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.6%あった。

問3 市の情報を得る方法

図表3 市の情報を得る方法(MA)(N=859)



[調査結果]

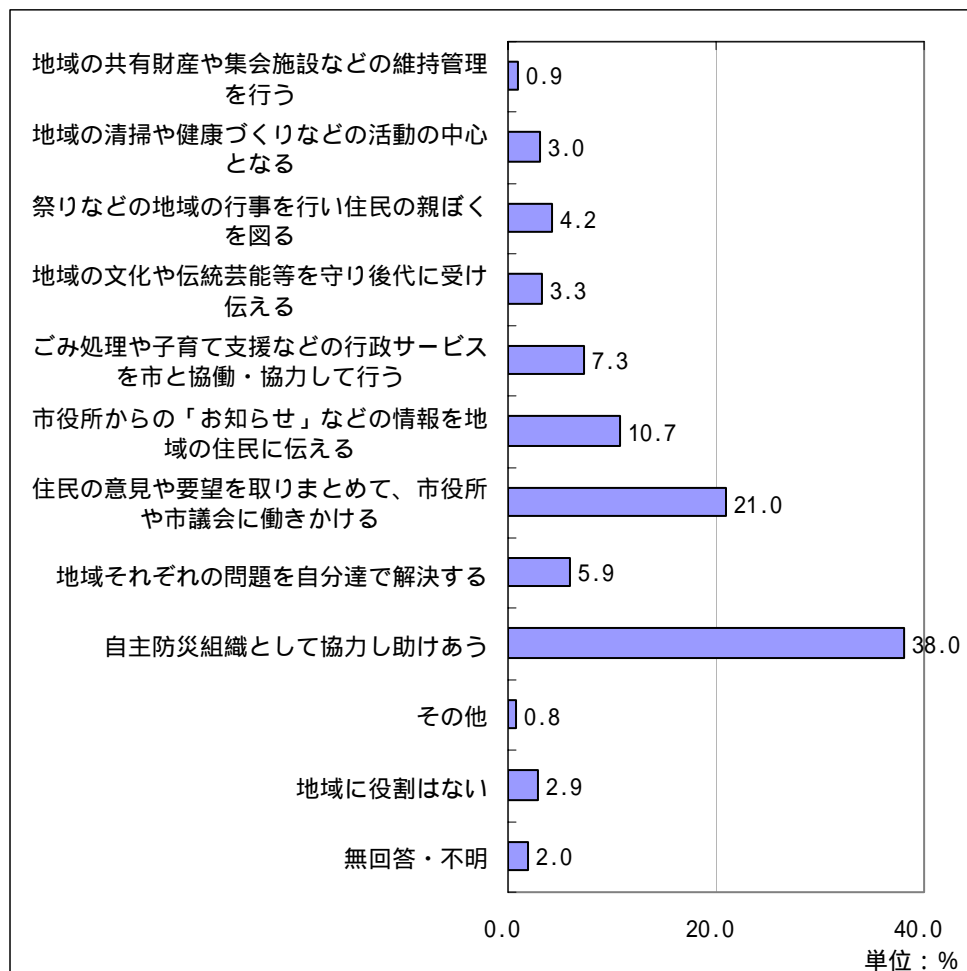
市の情報を得る方法を複数回答で尋ねたところ、「広報南アルプス」(80.6%)が最も多かった。次いで、「回覧版」(48.1%)、「テレビ(CATV行政放送)」(29.3%)、「新聞」(28.8%)、「家族・友人・知人」(25.6%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「市の掲示板」及び「その他」(各1.3%)であった。次いで少ない順に「区長」及び「市議会議員」(各2.3%)、「市の職員」(2.4%)、「市ホームページ(インターネット)」(3.0%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.6%あった。

問4 地域（区や組等）の役割について

図表4 地域（区や組等）の役割について（MA）（N=859）



[調査結果]

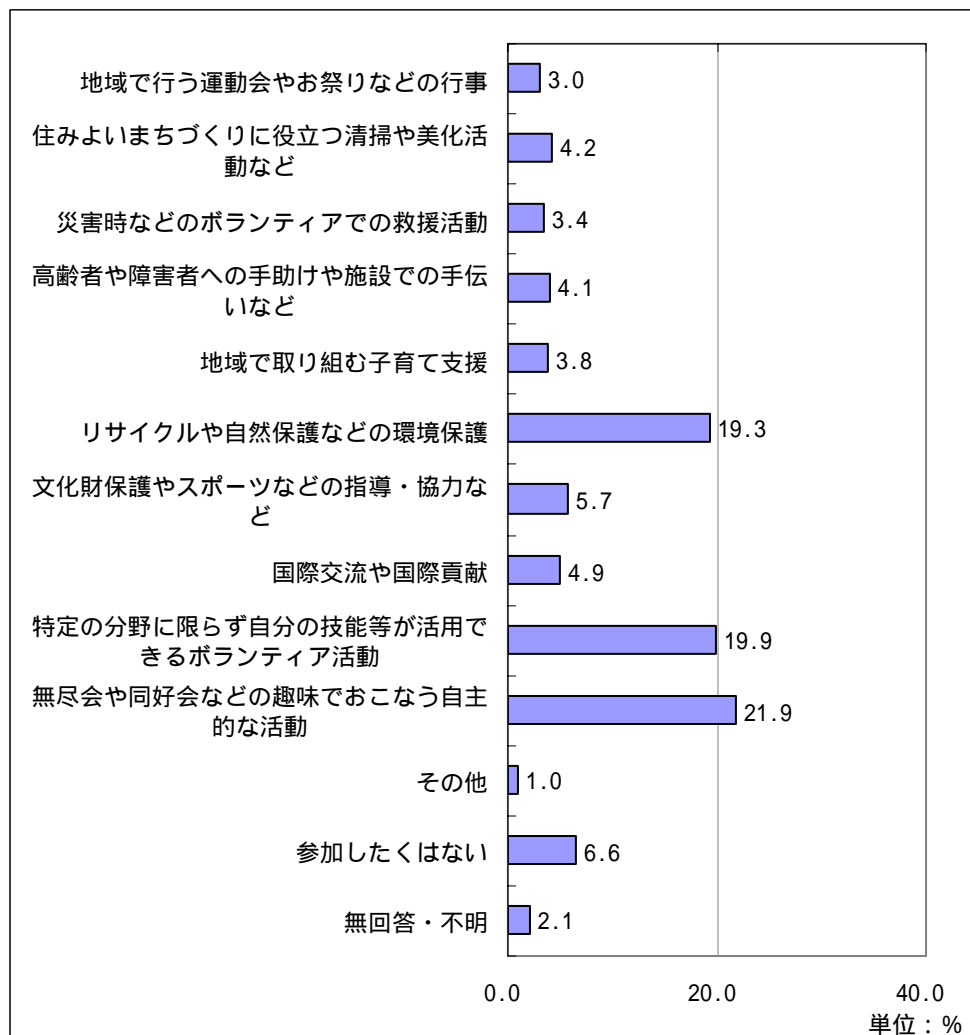
地域（区や組等）の役割について複数回答で尋ねたところ、「自主防災組織として協力し助けあう」（38.0%）が最も多かった。次いで、「住民の意見や要望を取りまとめて、市役所や市議会に働きかける」（21.0%）、「市役所からの「お知らせ」などの情報を地域の住民に伝える」（10.7%）、「ごみ処理や子育て支援などの行政サービスを市と協働・協力して行う」（7.3%）、「地域それぞれの問題を自分達で解決する」（5.9%）の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」（0.8%）であった。次いで少ない順に「地域の共有財産や集会施設などの維持管理を行う」（0.9%）、「地域に役割はない」（2.9%）、「地域の清掃や健康づくりなどの活動の中心となる」（3.0%）、「地域の文化や伝統芸能等を守り後代に受け伝える」（3.3%）の順であった。

なお、無回答・不明が2.0%あった。

問5 参加したい活動

図表5 参加したい活動(MA)(N=859)



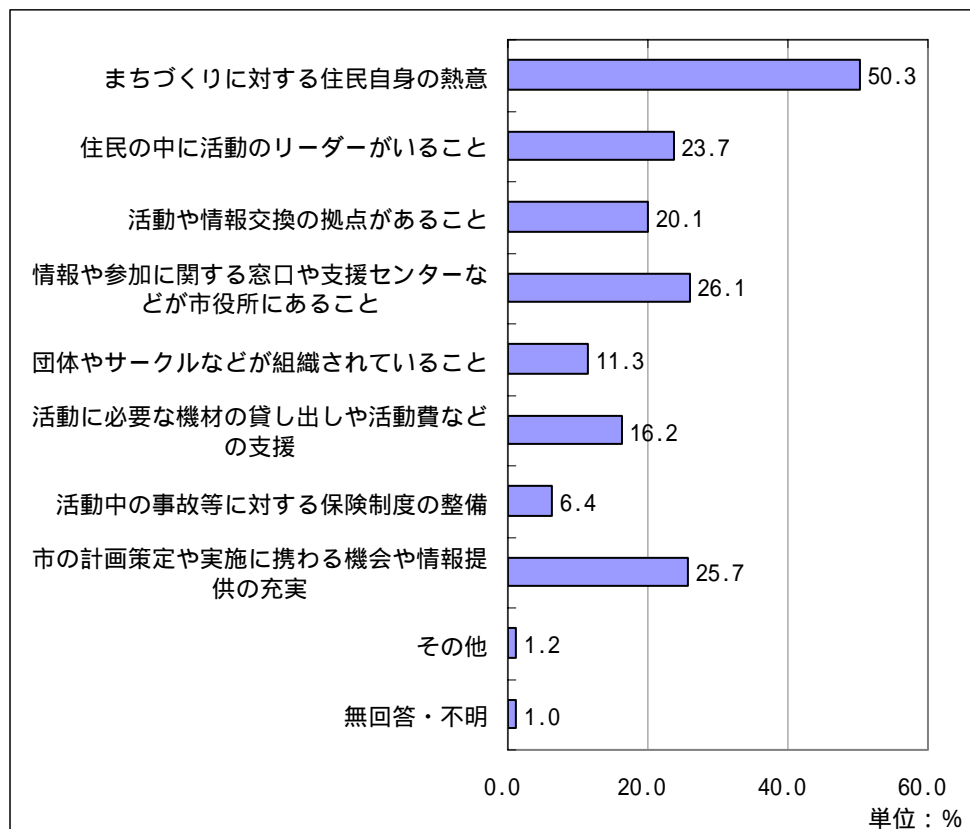
[調査結果]

「どのような活動に参加したいのか」を複数回答で尋ねたところ、「無尽会や同好会などの趣味でおこなう自主的な活動」(21.9%)が最も多かった。次いで、「特定の分野に限らず自分の技能等が活用できるボランティア活動」(19.9%)、「リサイクルや自然保護などの環境保護」(19.3%)、「参加したくない」(6.6%)、「文化財保護やスポーツなどの指導・協力など」(5.7%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(1.0%)であった。次いで少ない順に「地域で行う運動会やお祭などの行事」(3.0%)、「災害時などのボランティアでの救援活動」(3.4%)、「地域で取り組む子育て支援」(3.8%)、「高齢者や障害者への手助けや施設での手伝いなど」(4.1%)の順であった。なお、無回答・不明が2.1%あった。

問6 市民がまちづくりに参加するために必要なこと

図表6 市民がまちづくりに参加するために必要なこと（MA）(N=859)



[調査結果]

「市民がまちづくりに参加するためには何が必要か」を複数回答で尋ねたところ、「まちづくりに対する住民自身の熱意」（50.3%）が最も多かった。次いで、「情報や参加に関する窓口や支援センターなどが市役所にあること」（26.1%）、「市の計画策定や実施に携わる機会や情報提供の充実」（25.7%）、「住民の中に活動のリーダーがいること」（23.7%）の順であった。

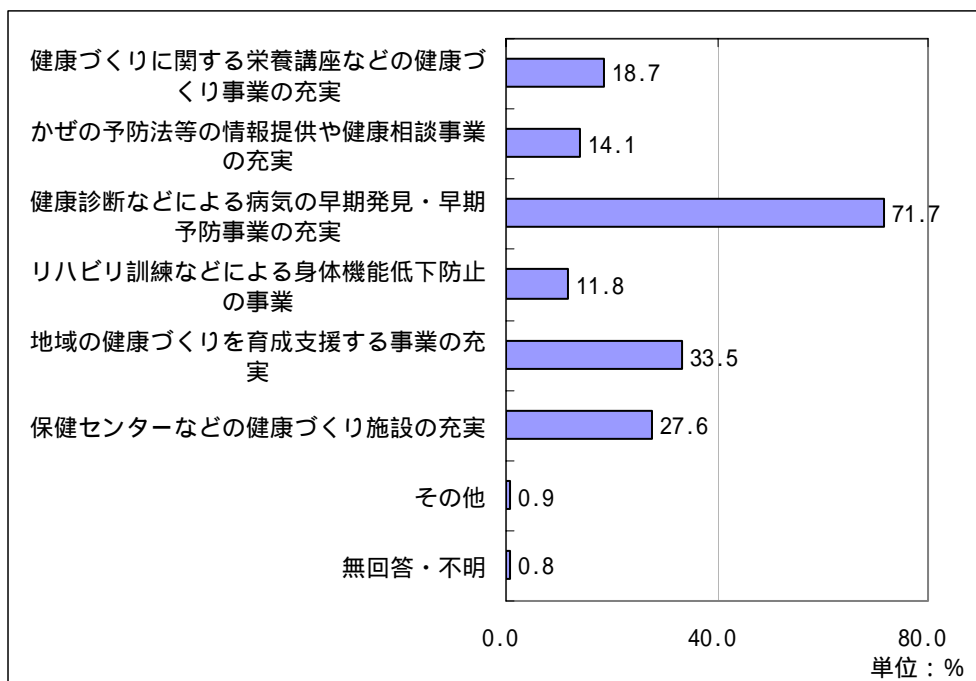
逆に最も少なかったのは、「その他」（1.2%）であった。次いで少ない順に「活動中の事故等に対する保険制度の整備」（6.4%）、「団体やサークルなどが組織されていること」（11.3%）、「活動に必要な機材の貸し出しや活動費などの支援」（16.2%）の順であった。

なお、無回答・不明が1.0%あった。

問7 市民が幸せに暮らすために充実すべきこと

問7 - ア 健康づくりに関すること

図表7 - ア 健康づくりに関すること (MA) (N=859)



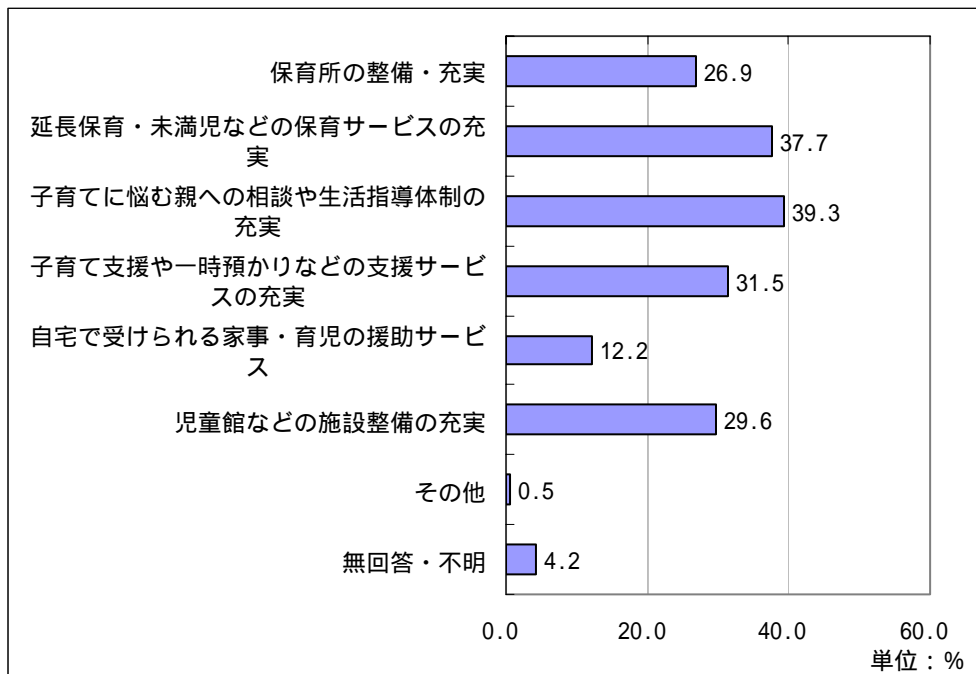
[調査結果]

「健康づくりに関して充実すべきことは何か」を複数回答で尋ねたところ、「健康診断などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実」(71.7%)が最も多かった。次いで、「地域の健康づくりを育成支援する事業の充実」(33.5%)、「保健センターなどの健康づくり施設の充実」(27.6%)、「健康づくりに関する栄養講座などの健康づくり事業の充実」(18.7%)、「かぜの予防法等の情報提供や健康相談事業の充実」(14.1%)、「リハビリ訓練などによる身体機能低下防止の事業」(11.8%)、「その他」(0.9%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.8%あった。

問7 - イ 母子・児童福祉に関すること

図表7 - イ 母子・児童福祉に関すること (MA) (N=859)



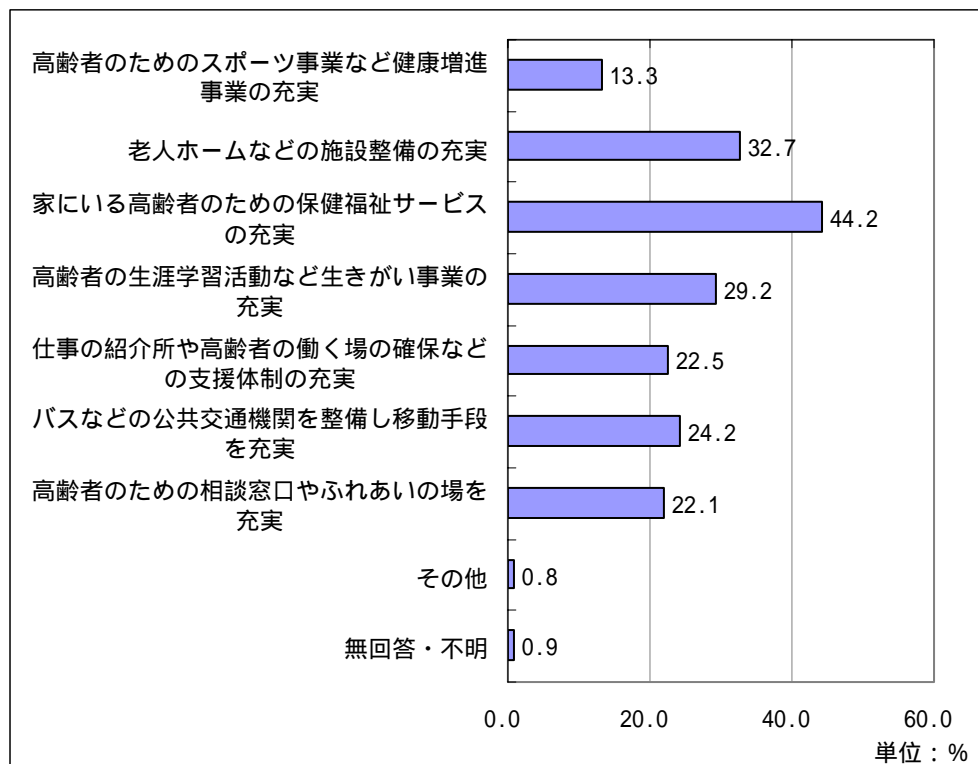
[調査結果]

「母子・児童福祉に関して充実すべきことは何か」を複数回答で尋ねたところ、「子育てに悩む親への相談や生活指導體制の充実」(39.3%)が最も多かった。次いで、「延長保育・未満児などの保育サービスの充実」(37.7%)、「子育て支援や一時預かりなどの支援サービスの充実」(31.5%)、「児童館などの施設整備の充実」(29.6%)、「延長保育・未満児などの保育サービスの充実」(26.9%)、「自宅で受けられる家事・育児の援助サービス」(12.2%)、「その他」(0.5%)の順であった。

なお、無回答・不明が4.2%あった。

問7 - ウ 高齢者福祉に関すること

図表7 - ウ 高齢者福祉に関すること (MA) (N=859)



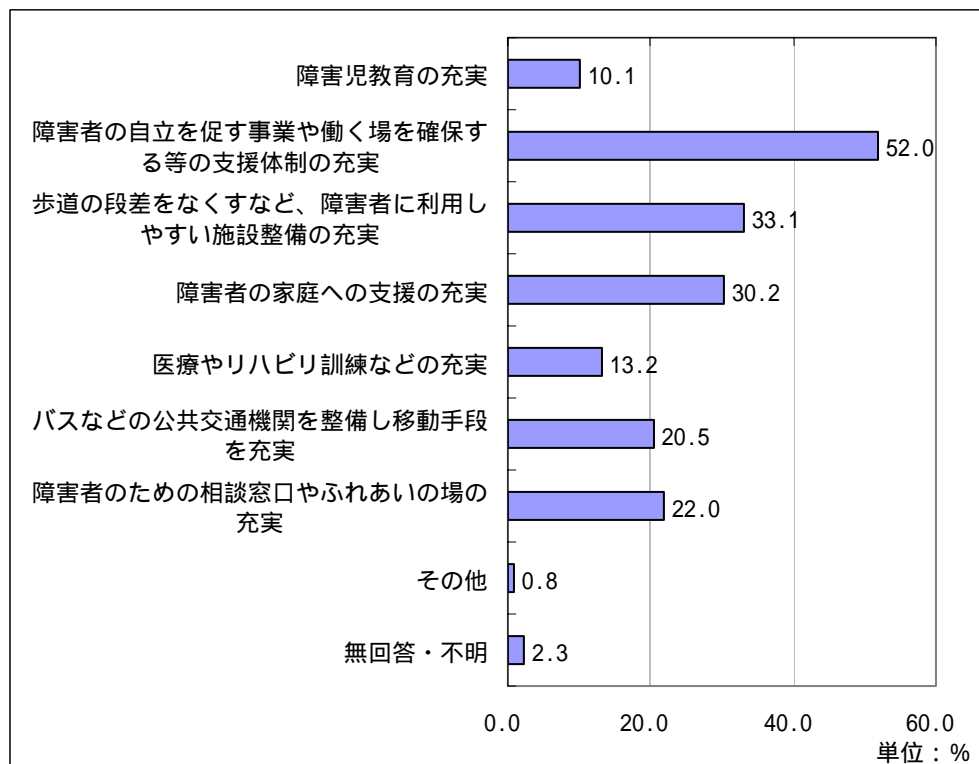
[調査結果]

「高齢者福祉に関して充実すべきことは何か」を複数回答で尋ねたところ、「家にいる高齢者のための保健福祉サービスの充実」(44.2%)が最も多かった。次いで、「老人ホームなどの施設整備の充実」(32.7%)、「高齢者の生涯学習活動など生きがい事業の充実」(29.2%)、「バスなどの公共交通機関を整備し移動手段を充実」(24.2%)、「仕事の紹介所や高齢者の働く場の確保などの支援体制の充実」(22.5%)、「高齢者のための相談窓口やふれあいの場を充実」(22.1%)、「高齢者のためのスポーツ事業など健康増進事業の充実」(13.3%)、「その他」(0.8%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.9%あった。

問7 - 工 障害者福祉に関すること

図表7 - 工 障害者福祉に関すること (MA)(N=859)



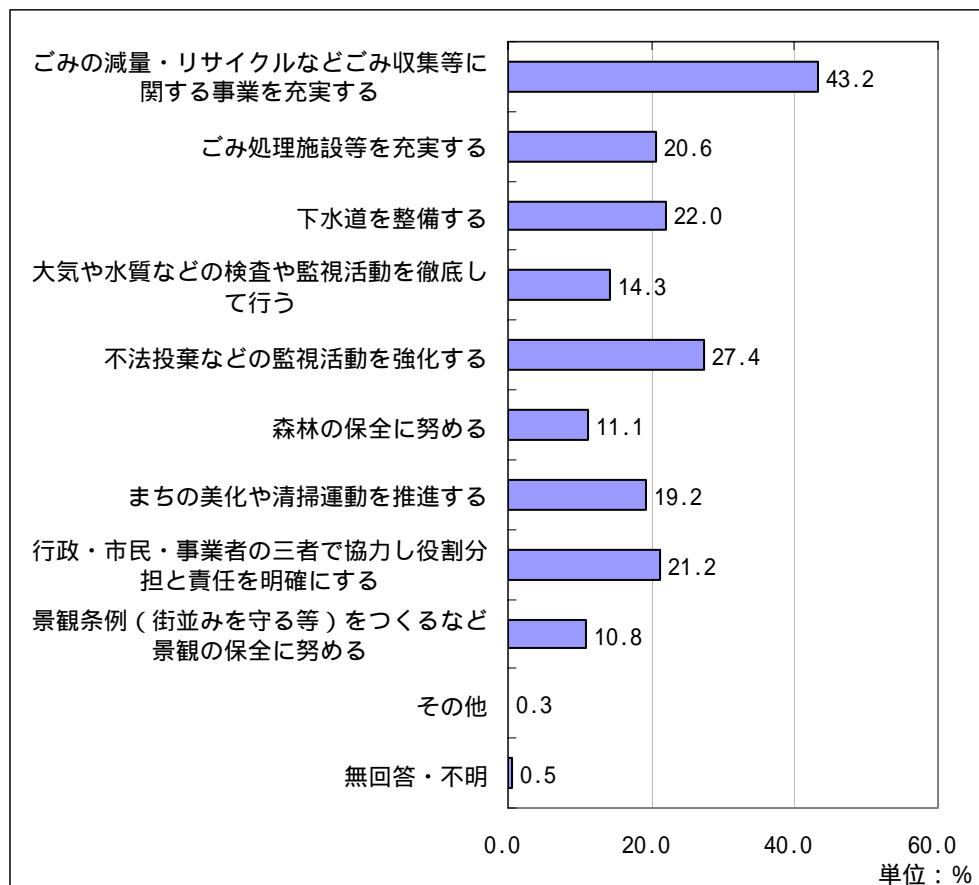
[調査結果]

「障害者福祉に関して充実すべきことは何か」を複数回答で尋ねたところ、「障害者の自立を促す事業や働く場を確保する等の支援体制の充実」(52.0%)が最も多かった。次いで、「歩道の段差をなくすなど、障害者に利用しやすい施設整備の充実」(33.1%)、「障害者の家庭への支援の充実」(30.2%)、「障害者のための相談窓口やふれあいの場の充実」(22.0%)、「バスなどの公共交通機関を整備し移動手段を充実」(20.5%)、「医療やリハビリ訓練等の充実」(13.2%)、「障害児教育の充実」(10.1%)、「その他」(0.8%)の順であった。

なお、無回答・不明が2.3%あった。

問 8 地域の環境を良好にするために市が力を入れるべきこと

図表 8 地域の環境を良好にするために市が力を入れるべきこと (MA) (N=859)



[調査結果]

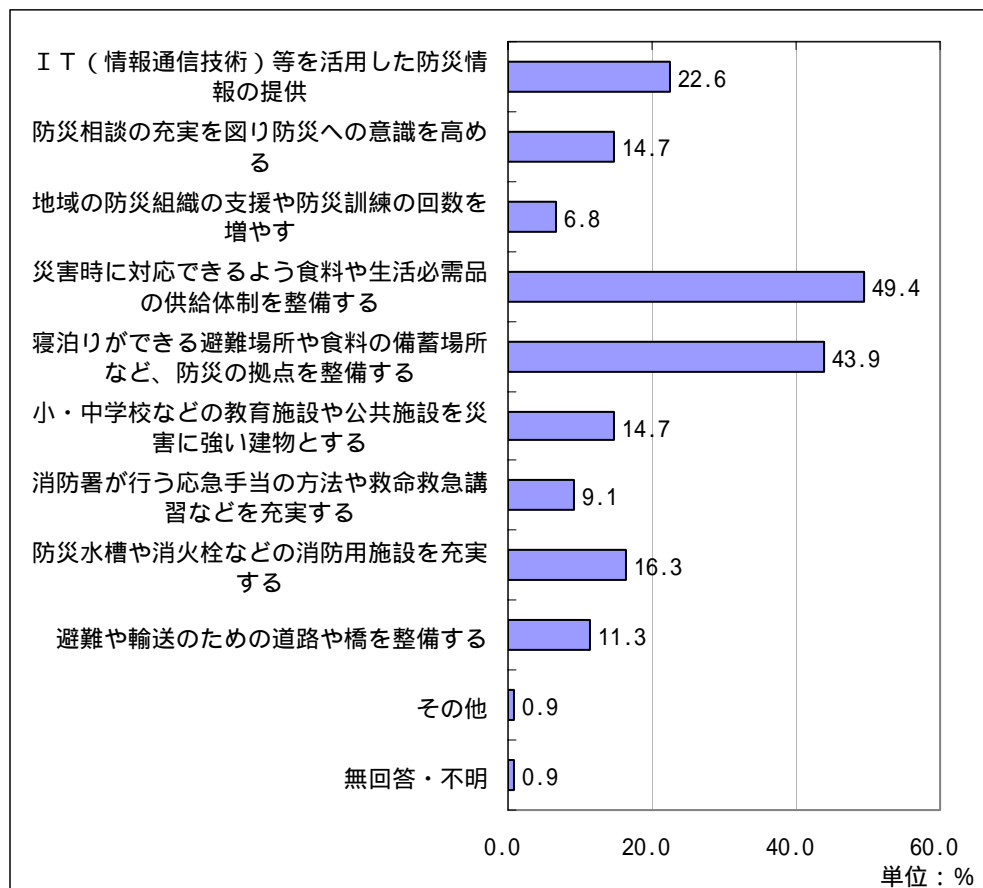
「地域の環境を良好なものとするためには、市がどのようなことに力を入れるべきか」を複数回答で尋ねたところ、「ごみの減量・リサイクルなどごみ収集等に関する事業を充実する」(43.2%)が最も多かった。次いで、「不法投棄などの監視活動を強化する」(27.4%)、「下水道を整備する」(22.0%)、「行政・市民・事業者の三者で協力し役割分担と責任を明確にする」(21.2%)、「ごみ処理施設等を充実する」(20.6%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(0.3%)であった。次いで少ない順に「景観条例(街並みを守る等)をつくるなど景観の保全に努める」(10.8%)、「森林の保全に努める」(11.1%)、「大気や水質などの検査や監視活動を徹底して行う」(14.3%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.5%あった。

問9 防災対策について進めて欲しいこと

図表9 防災対策について進めて欲しいこと(MA)(N=859)



[調査結果]

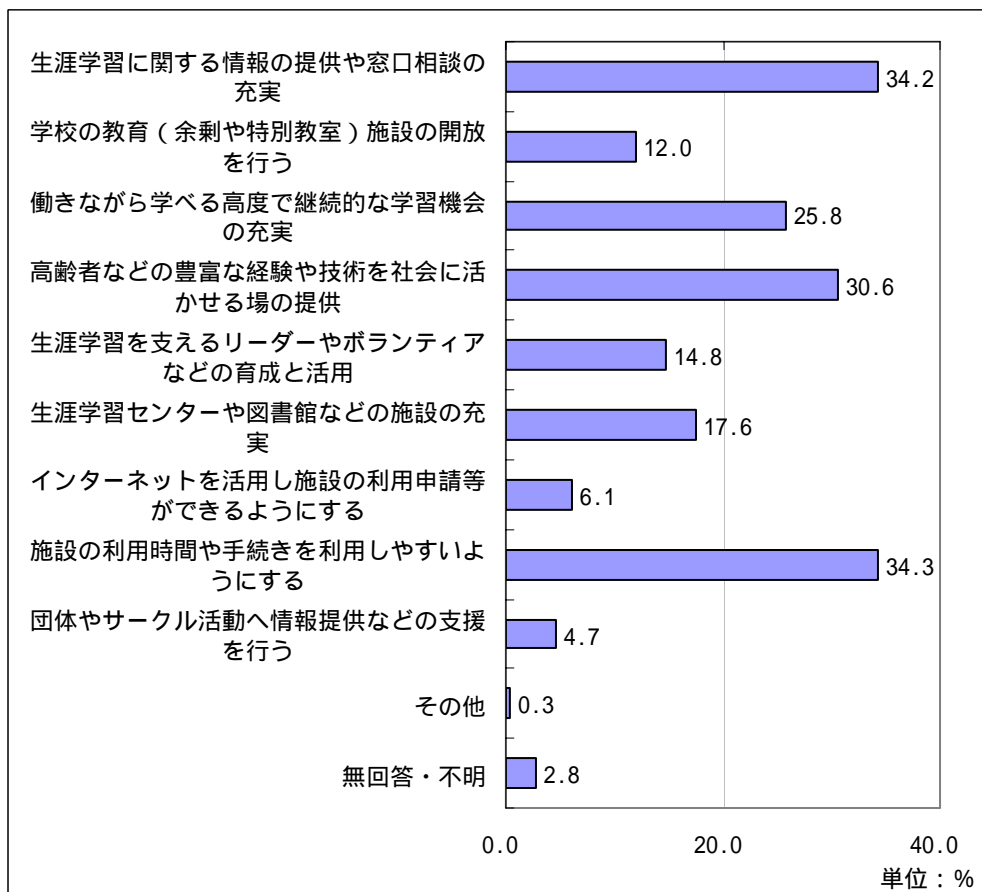
「防災対策について、どのようなことを積極的に進めてほしいか」を複数回答で尋ねたところ、「災害時に対応できるよう食料や生活必需品の供給体制を整備する」(49.4%)が最も多かった。次いで、「寝泊りができる避難場所や食料の備蓄場所など、防災の拠点を整備する」(43.9%)、「IT (情報通信技術) 等を活用した防災情報の提供」(22.6%)、「防火水槽や消火栓などの消防用施設を充実する」(16.3%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(0.9%)であった。次いで少ない順に「地域の防災組織の支援や防災訓練の回数を増やす」(6.8%)、「消防署が行う応急手当の方法や救命救急講習などを充実する」(9.1%)、「避難や輸送のための道路や橋を整備する」(11.3%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.9%あった。

問 1 0 生涯学習活動に参加する上で市に望むこと

図表 1 0 生涯学習活動に参加する上で市に望むこと (M A)(N=859)



[調査結果]

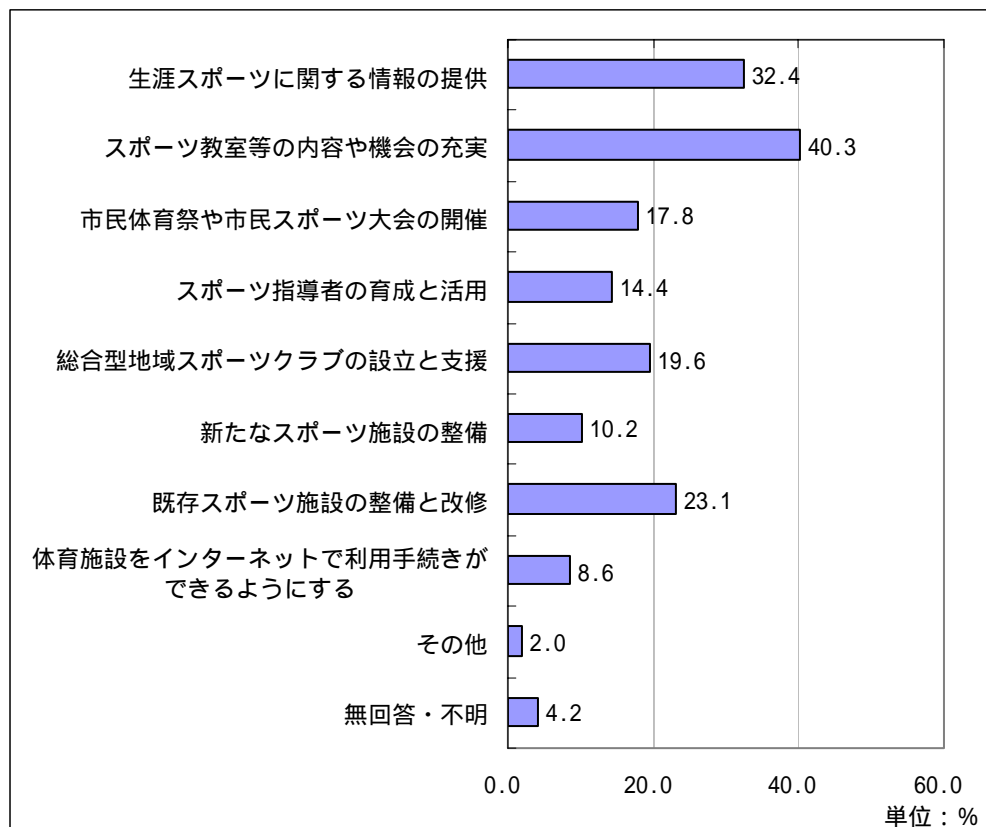
「生涯学習活動に参加するうえで、市にどのようなことを望むか」を複数回答で尋ねたところ、「施設の利用時間や手続きを利用しやすいようにする」(34.3%)が最も多かった。次いで、「生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実」(34.2%)、「高齢者などの豊富な経験や技術を社会に活かせる場の提供」(30.6%)、「働きながら学べる高度で継続的な学習機会の充実」(25.8%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(0.3%)であった。次いで少ない順に「団体やサークル活動へ情報提供などの支援を行う」(4.7%)、「インターネットを活用し施設の利用申請等ができるようにする」(6.1%)、「学校の教室（余剰や特別教室）施設の開放を行う」(12.0%)の順であった。

なお、無回答・不明が2.8%あった。

問 1 1 スポーツ活動について市に望むこと

図表 1 1 スポーツ活動について市に望むこと (M A)(N = 859)



[調査結果]

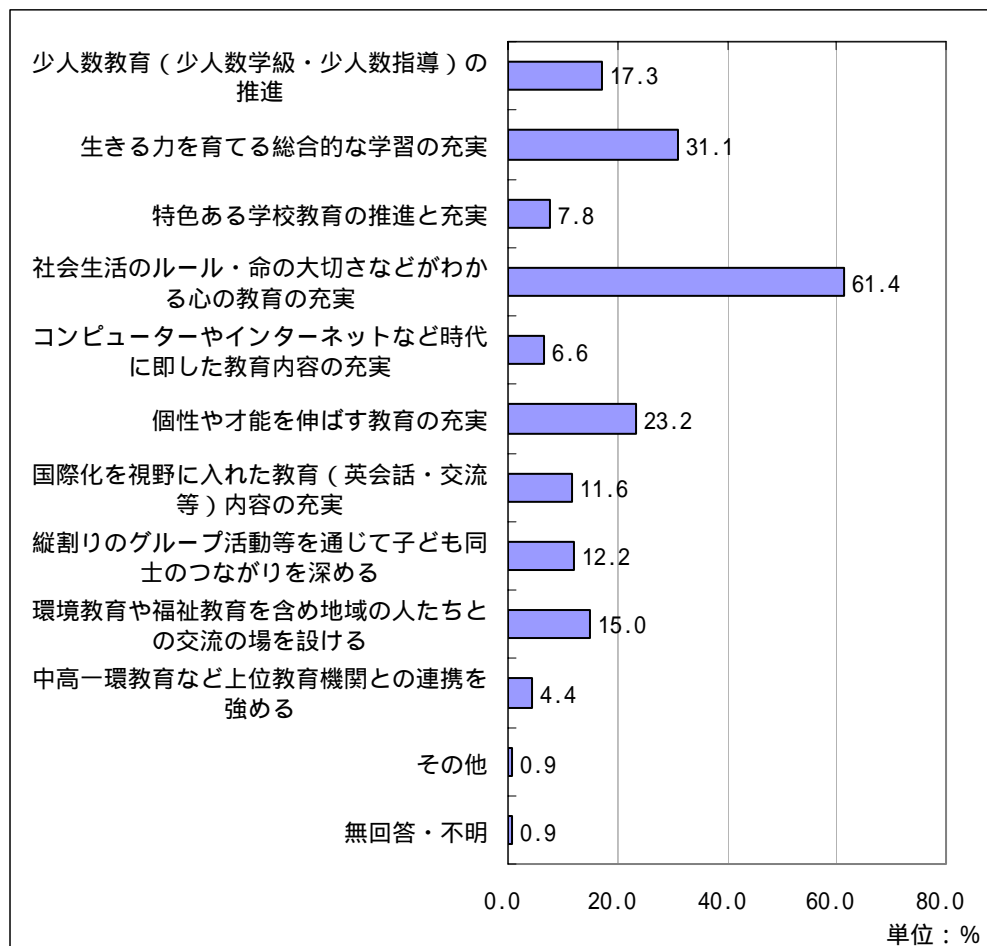
「スポーツ活動に対して市にどのようなことを望むか」を複数回答で尋ねたところ、「スポーツ教室等の内容や機会の充実」(40.3%)が最も多かった。次いで、「生涯スポーツに関する情報の提供」(32.4%)、「既存スポーツ施設の整備と改修」(23.1%)、「総合型地域スポーツクラブの設立と支援」(19.6%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(2.0%)であった。次いで少ない順に「体育施設をインターネットで利用手続きができるようにする」(8.6%)、「新たなスポーツ施設の整備」(10.2%)、「スポーツ指導者の育成と活用」(14.4%)の順であった。

なお、無回答・不明が4.2%あった。

問 1 2 教育環境について市に望むこと

図表 1 2 教育環境について市に望むこと (M A) (N = 859)



[調査結果]

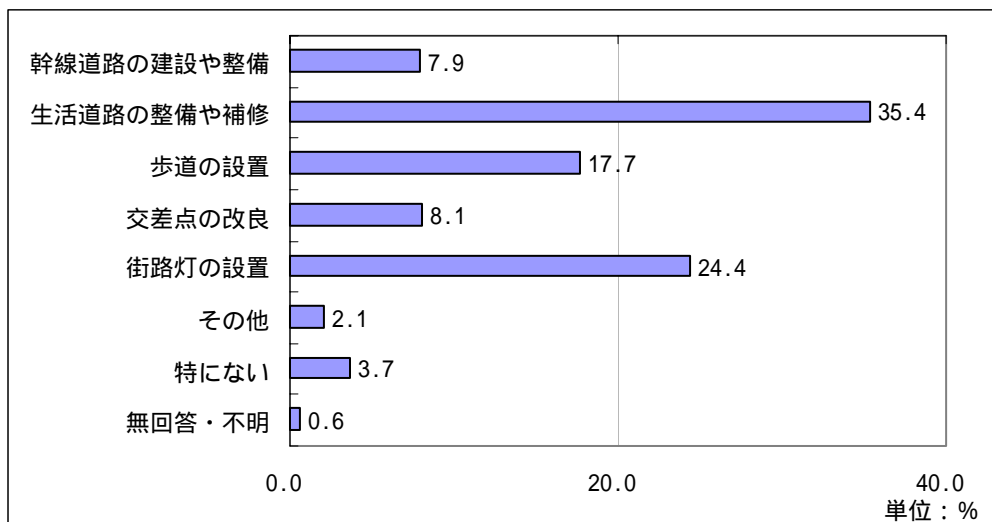
教育環境について市に望むことを複数回答で尋ねたところ、「社会生活のルールを身につけ命の大切さなどがわかる心の教育の充実」(61.4%)が最も多かった。次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」(31.1%)、「個性や才能を伸ばす教育の充実」(23.2%)、「少人数教育(少人数学級・少人数指導)の推進」(17.3%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(0.9%)であった。次いで少ない順に「中高一貫教育など上位教育機関との連携を強める」(4.4%)、「コンピューターやインターネットなど時代に即した教育内容の充実」(6.6%)、「特色のある学校教育の推進と充実」(7.8%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.9%あった。

問 1 3 市内の道路について望むこと

図表 1 3 市内の道路について望むこと (S A)(N=859)



[調査結果]

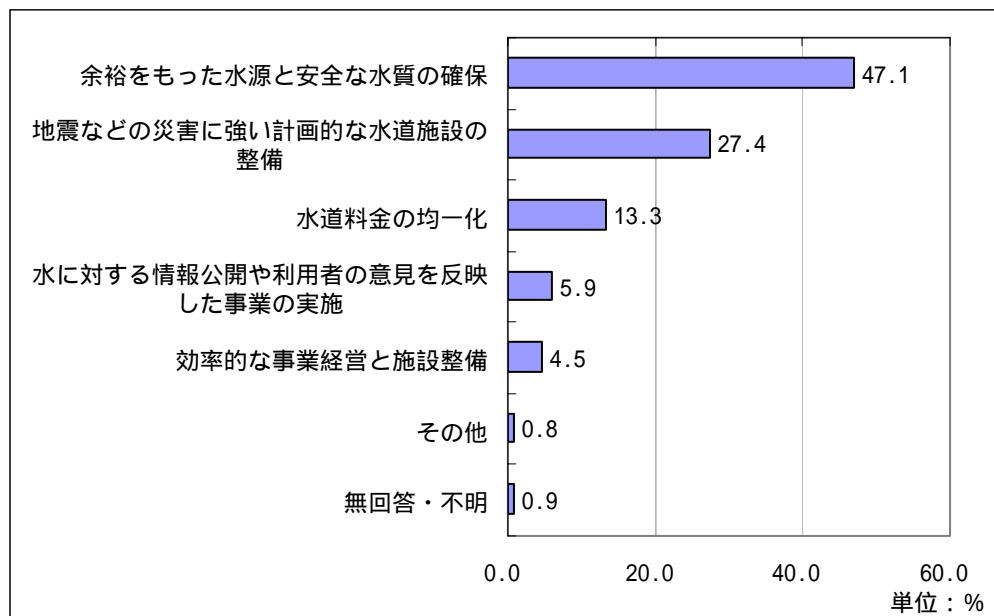
「市内の道路について、良くしてほしいと思っていることはなにか」を択一回答で尋ねたところ、「生活道路の整備や補修」(35.4%)が最も多かった。次いで、「街路灯の設置」(24.4%)、「歩道の設置」(17.7%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(2.1%)であった。次いで少ない順に「特にない」(3.7%)、「幹線道路の建設や整備」(7.9%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.6%あった。

問 1 4 水道事業について望むこと

図表 1 4 水道事業について望むこと (S A)(N=859)



[調査結果]

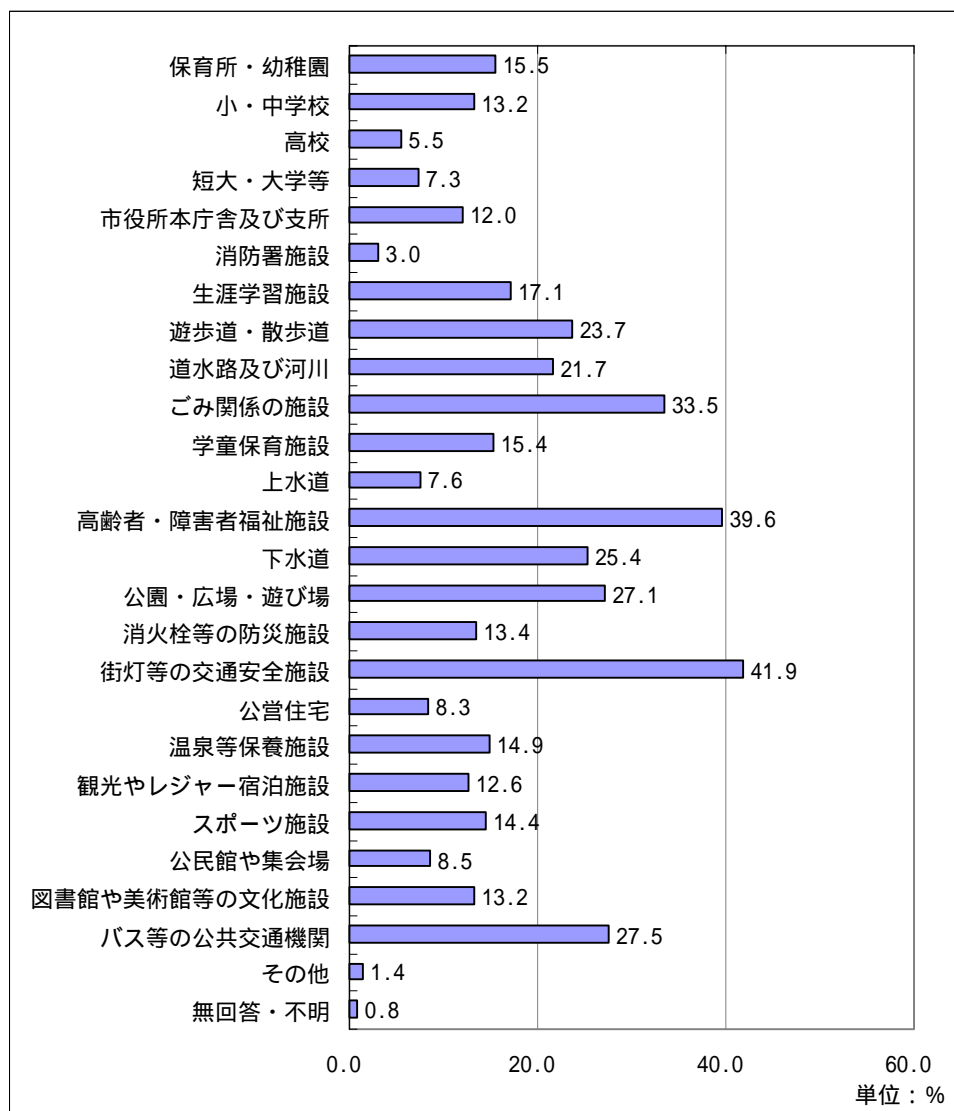
今後の水道事業について望むことを択一回答で尋ねたところ、「余裕をもった水源と安全な水質の確保」(47.1%)が最も多かった。次いで、「地震などの災害に強い計画的な水道施設の整備」(27.4%)、「水道料金の均一化」(13.3%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(0.8%)であった。次いで少ない順に「効率的な事業経営と施設整備」(4.5%)、「水に対する情報公開や利用者の意見を反映した事業の実施」(5.9%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.9%あった。

問15 特に整備・充実して欲しいと思う公共的な施設

図表15 特に整備・充実して欲しいと思う公共的な施設 (MA) (N=859)



[調査結果]

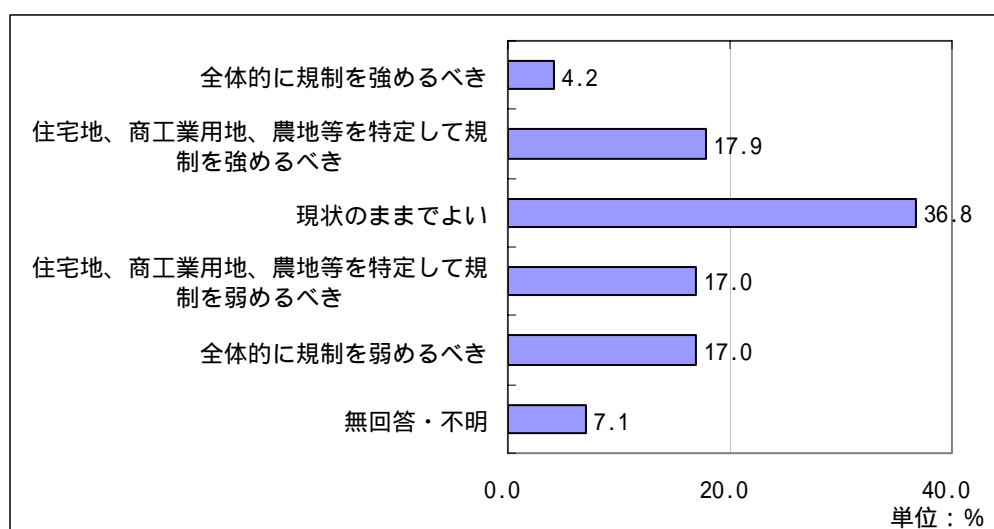
「特に力を入れて整備・充実して欲しいと思う公共的な施設は何か」を複数回答で尋ねたところ、「街灯等の交通安全施設」(41.9%)が最も多かった。次いで、「高齢者・障害者福祉施設」(39.6%)、「ごみ関係の施設」(33.5%)、「バス等の公共交通機関」(27.5%)、「公園・広場・遊び場」(27.1%)、「下水道」(25.4%)、「遊歩道・散歩道」(23.7%)、「道水路及び河川」(21.7%)、「生涯学習施設」(17.1%)、「保育所・幼稚園」(15.5%)、「学童保育施設」(15.4%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(1.4%)であった。次いで少ない順に「消防署施設」(3.0%)、「高校」(5.5%)、「短大・大学等」(7.3%)、「上水道」(7.6%)、「公営住宅」(8.3%)、「公民館や集会場」(8.5%)、「市役所本庁舎及び支所」(12.0%)、「観光やレジャー宿泊施設」(12.6%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.8%あった。

問 1 6 土地利用と規制についての考え

図表 1 6 土地利用と規制についての考え (S A)(N=859)



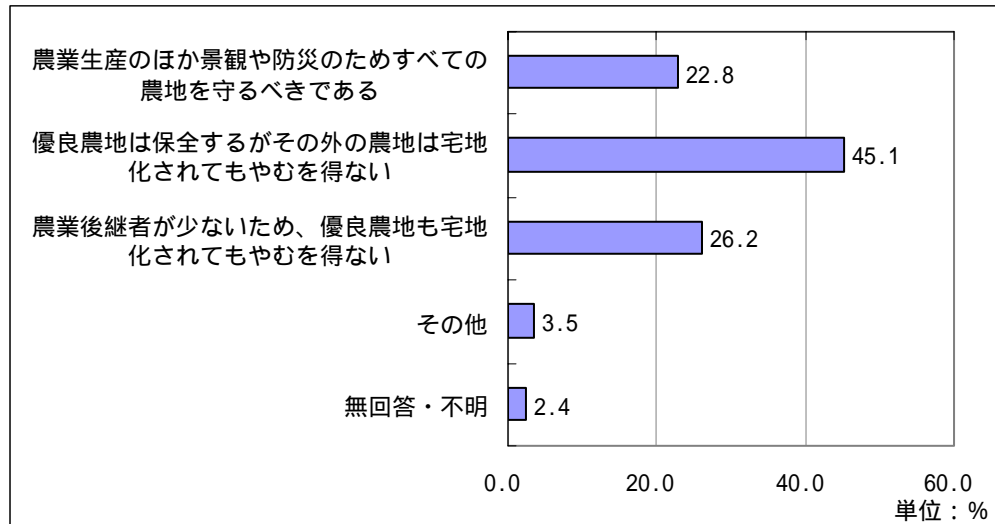
[調査結果]

今後の土地利用と規制についての考えを択一回答で尋ねたところ、「現状のままでよい」(36.8%)が最も多かった。次いで、「住宅地、商工業用地、農地等を特定して規制を強めるべき」(17.9%)、「住宅地、商工業用地、農地等を特定して規制を弱めるべき」及び「全体的に規制を弱めるべき」(各17.0%)の順であった。

なお、無回答・不明が7.1%あった。

問 1 7 農地の保全と宅地の供給について

図表 1 7 農地の保全と宅地の供給について (S A)(N=859)



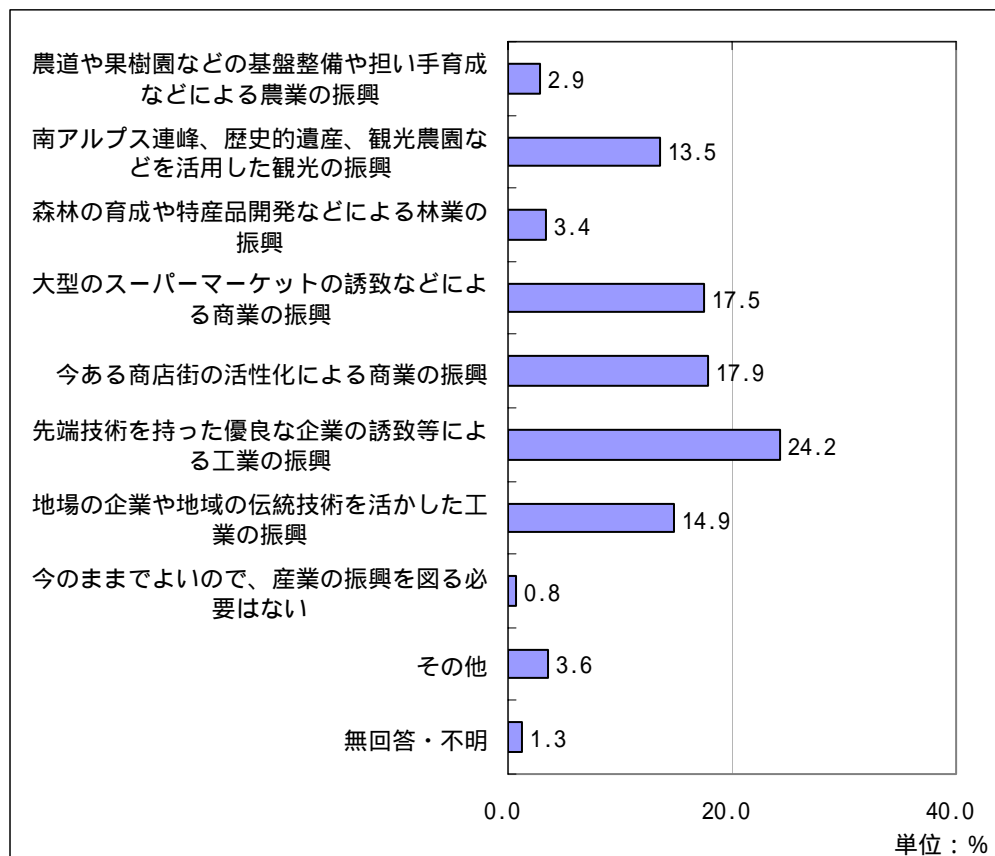
[調査結果]

今後の農地の保全と宅地の供給についての考えを択一回答で尋ねたところ、「(良好な住環境や生活の利便性・安全性も重要なので、)優良農地は保全するが、それ以外の農地は宅地化されてもやむを得ない」(45.1%)が最も多かった。次いで、「農業後継者が少ないため、優良農地も含め農地は宅地化されてもやむを得ない」(26.2%)、「農業生産のほか景観や防災のためすべての農地を守るべきである」(22.8%)、「その他」(3.5%)の順であった。

なお、無回答・不明が2.4%あった。

問 1 8 力を入れるべき産業振興

図表 1 8 力を入れるべき産業振興 (M A)(N = 859)



[調査結果]

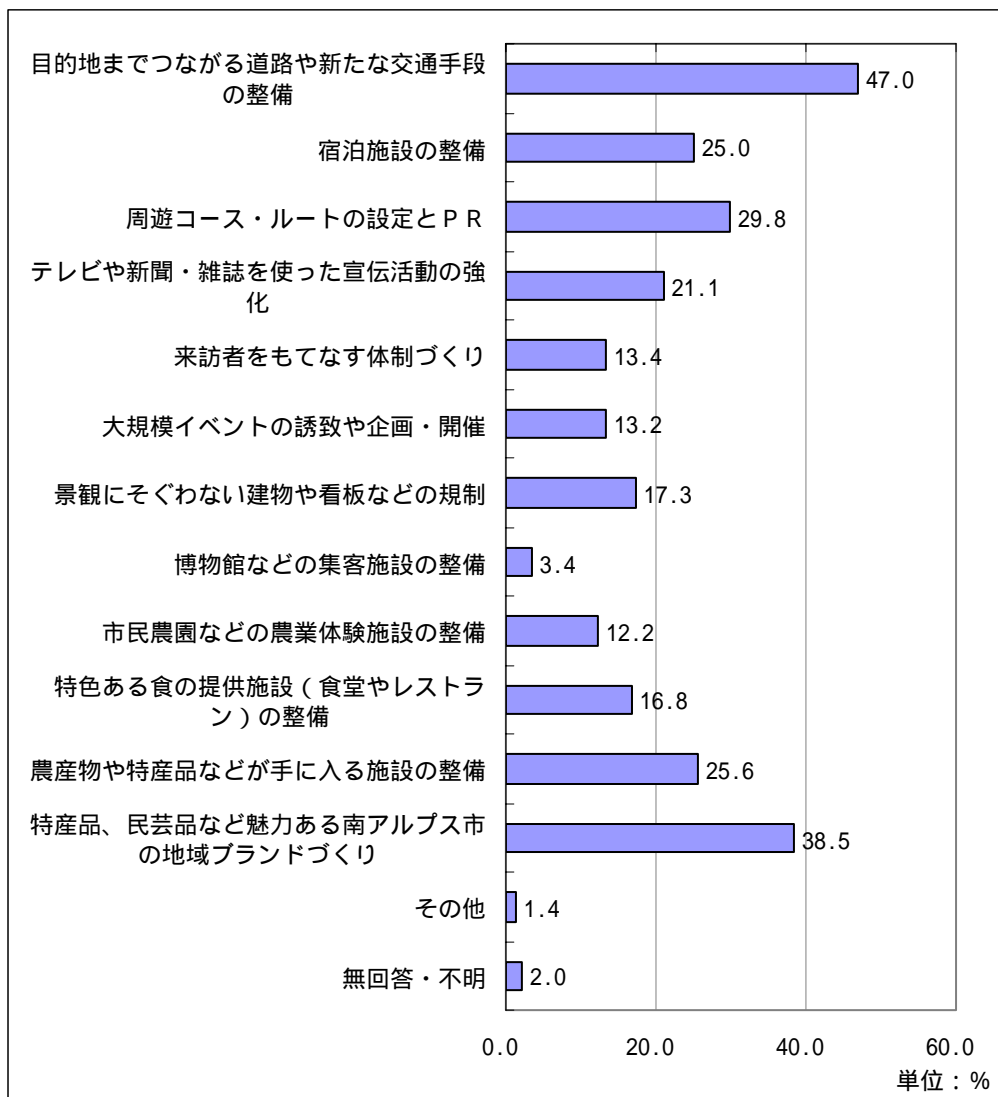
「これから市はどのような産業に力を入れていくべきか」を複数回答で尋ねたところ、「先端技術を持った優良な企業の誘致等による工業の振興」(24.2%)が最も多かった。次いで、「今ある商店街の活性化による商業の振興」(17.9%)、「大型のスーパーマーケットの誘致などによる商業の振興」(17.5%)、「地場の企業や地域の伝統技術を活かした工業の振興」(14.9%)、「南アルプス連峰、歴史的遺産、観光農園などを活用した観光の振興」(13.5%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「今のままでよいので、産業の振興を図る必要はない」(0.8%)であった。次いで少ない順に「農道や果樹園などの基盤整備や担い手育成などによる農業の振興」(2.9%)、「森林の育成や特産品開発などによる林業の振興」(3.4%)、「その他」(3.6%)の順であった。

なお、無回答・不明が1.3%あった。

問 1 9 観光の振興を図るために市が力を入れるべきこと

図表 1 9 観光の振興を図るために市が力を入れるべきこと (M A) (N = 8 5 9)



[調査結果]

「観光の振興を図るには、市はどのようなことに力を入れるべきか」を複数回答で尋ねたところ、「目的地までつながる道路や新たな交通手段の整備」(47.0%)が最も多かった。次いで、「特産品、民芸品など魅力ある南アルプス市の地域ブランドづくり」(38.5%)、「周遊コース・ルートの設定と P R」(29.8%)、「農産物や特産品などが手に入る施設の整備」(25.6%)、「宿泊施設の整備」(25.0%)、「テレビや新聞・雑誌を使った宣伝活動の強化」(21.1%)の順であった。

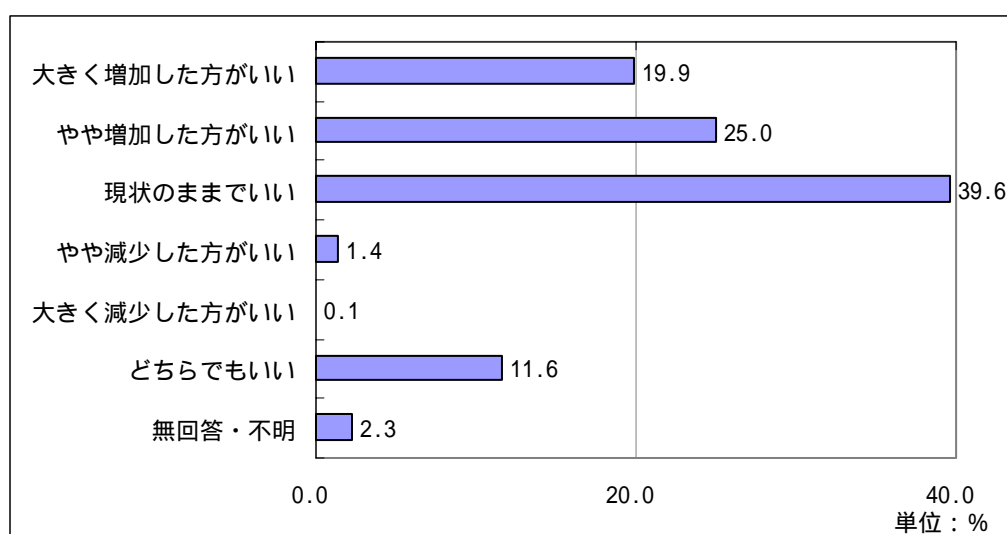
逆に最も少なかったのは、「その他」(1.4%)であった。次いで少ない順に「博物館など

の集客施設の整備」(3.4%)、「市民農園などの農業体験施設の整備」(12.2%)、「大規模イベントの誘致や企画・開催」(13.2%)、「来訪者をもてなす体制づくり」(13.4%)の順であった。

なお、無回答・不明が2.0%あった。

問20 市の人口のあり方

図表20 市の人口のあり方(SA)(N=859)



[調査結果]

「これからの市の人口はどうあるべきか」を択一回答で尋ねたところ、「大きく増加した方がいい」(19.9%)と「やや増加した方がいい」(25.0%)を合わせた「増加」意向が44.9%であった。

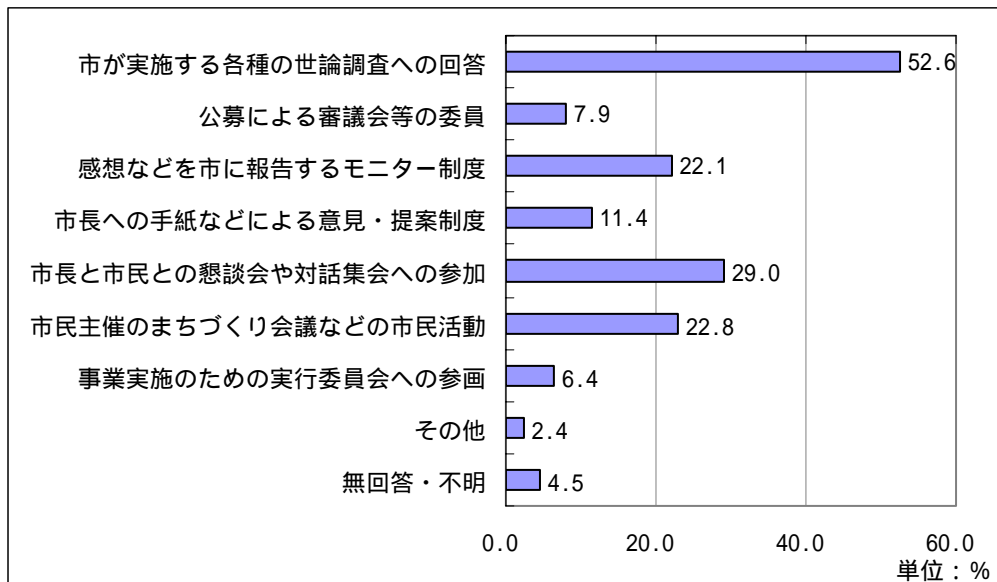
一方、「大きく減少した方がいい」(0.1%)と「やや減少した方がいい」(1.4%)を合わせた「減少」意向は1.5%であった。

また、「現状のままでいい」は39.6%であった。

なお、無回答・不明が2.3%あった。

問 2 1 どのような方法で市政に参加したいか

図表 2 1 どのような方法で市政に参加したいか (M A)(N=859)



[調査結果]

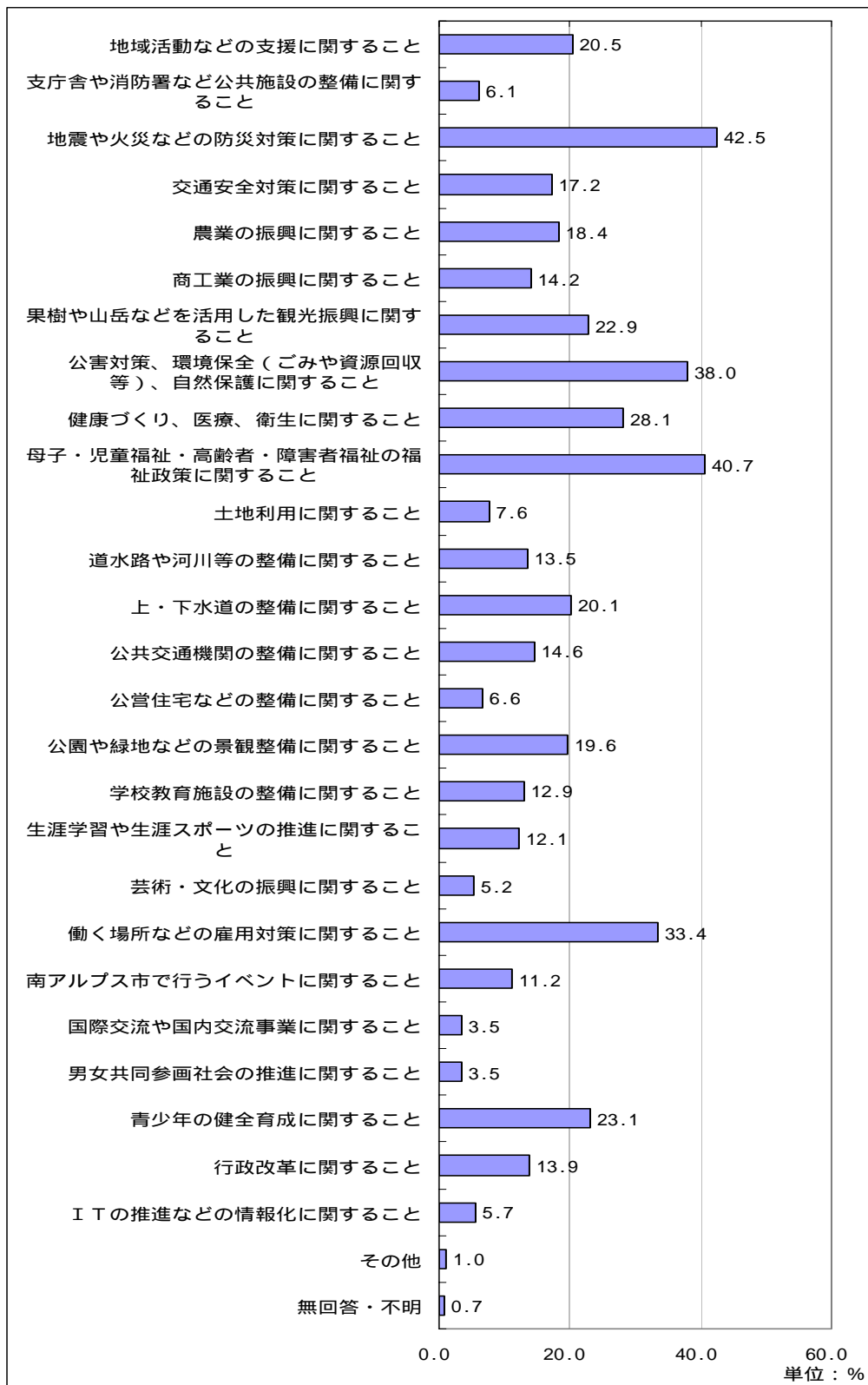
「今後、どのような方法で市政に参加したいか」を複数回答で尋ねたところ、「市が実施する各種の世論調査への回答」(52.6%)が最も多かった。次いで、「市長と市民との懇談会や対話集会への参加回覧版」(29.0%)、「市民主催のまちづくり会議などの市民活動」(22.8%)、「感想などを市に報告するモニター制度」(22.1%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(2.4%)であった。次いで少ない順に「事業実施のための実行委員会」(6.4%)、「公募による審議会等の委員」(7.9%)、「市長への手紙などによる意見・提案制度」(11.4%)の順であった。

なお、無回答・不明が4.5%あった。

問 2 2 市政に対して特に力を入れるべきだと思う施策

図表 2 2 市政に対して特に力を入れるべきだと思う施策 (M A)(N=859)



[調査

結果]

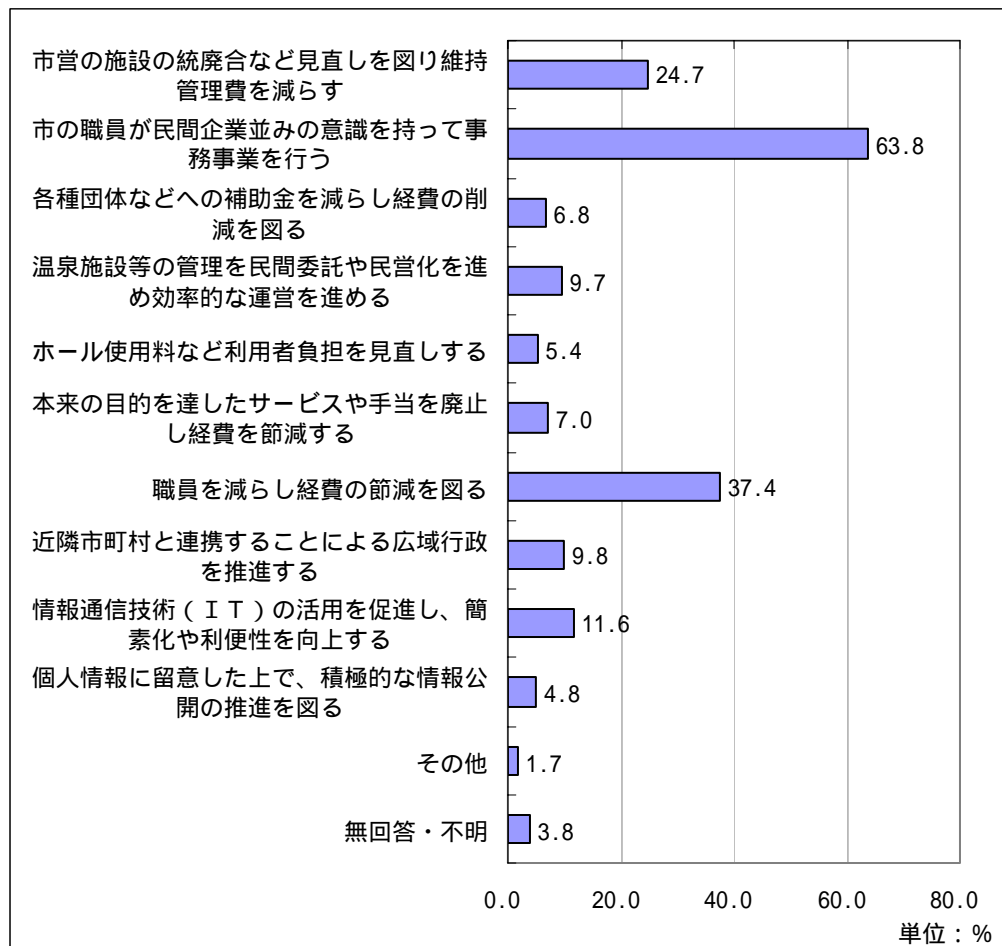
「市政に対して、特に力を入れるべきだと思う施策は何か」を複数回答で尋ねたところ、「地震や火災などの防災対策に関すること」(42.5%)が最も多かった。次いで、「母子・児童福祉・高齢者・障害者福祉の福祉政策に関すること」(40.7%)、「公害対策、環境保全(ごみや資源回収等)、自然保護に関すること」(38.0%)、「働く場所などの雇用対策に関すること」(33.4%)、「健康づくり、医療、衛生に関すること」(28.1%)、「青少年の健全育成に関すること」(23.1%)、「果樹や山岳などを活用した観光振興に関すること」(22.9%)、「地域活動などの支援に関すること」(20.5%)、「上・下水道の整備に関すること」(20.1%)、「公園や緑地などの景観整備に関すること」(19.6%)の順であった。

逆に最も少なかったのは、「その他」(1.0%)であった。次いで少ない順に「男女共同参画社会の推進に関すること」及び「国際交流や国内交流事業に関すること」(各 3.5%)、「芸術・文化の振興に関すること」(5.2%)、「ITの推進などの情報化に関すること」(5.7%)、「市庁舎や消防署など公共施設の整備に関すること」(6.1%)、「公営住宅などの整備に関すること」(6.6%)、「土地利用に関すること」(7.6%)、「南アルプス市で行うイベントに関すること」(11.2%)、「生涯学習や生涯スポーツの推進に関すること」(12.1%)の順であった。

なお、無回答・不明が0.7%あった。

問 2 3 特に力を入れていくべき行政改革

図表 2 3 特に力を入れていくべき行政改革 (M A) (N = 859)



[調査結果]

「特に力を入れていくべき行政改革は何か」を複数回答で尋ねたところ、「市の職員が民間企業並みの意識を持って事務事業を行い、無駄のない効率的な運営に努める」(63.8%)が最も多かった。次いで、「職員を減らし経費の節減を図る」(37.4%)、「市営の施設の統廃合など見直しを図り維持管理費を減らす」(24.7%)、「情報通信技術 (I T) の活用を促進し、行政手続きの簡素化や利便性の向上を図る」(11.6%)、「近隣市町村と連携することによる広域行政を推進する」(9.8%)、「温泉施設等の管理を民間委託や民営化を進め効率的な運営を進める」(9.7%)の順であった。

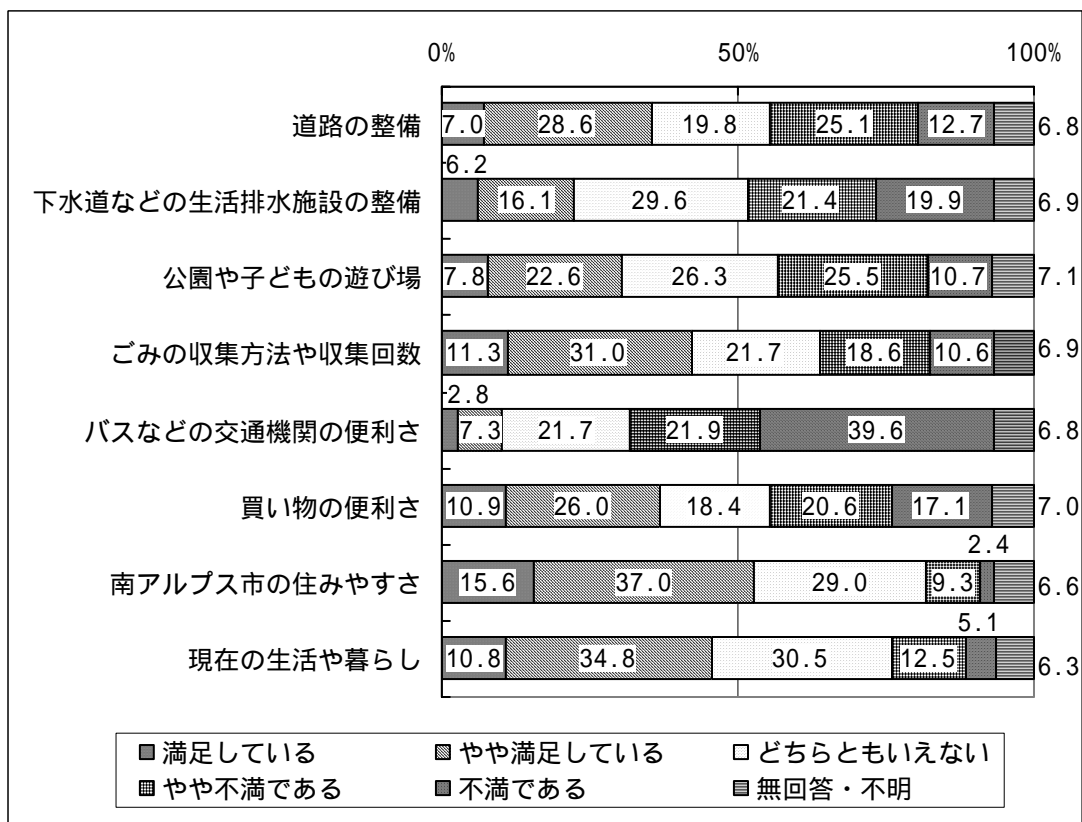
逆に最も少なかったのは、「その他」(1.7%)であった。次いで少ない順に「個人情報に留意した上で、積極的な情報公開の推進を図る」(4.8%)、「ホール使用料など利用者負担を見直しする」(5.4%)、「各種団体などへの補助金を減らし経費の削減を図る」(6.8%)、「本来の目的を達したサービスや手当を見直し経費を節減する」(7.0%)の順であった。

なお、無回答・不明が3.8%あった。

問 2 4 満足度

問 2 4 - ア 満足度 (居住環境)

図表 2 4 - ア 満足度 (居住環境) (S A) (N = 859)



[調査結果]

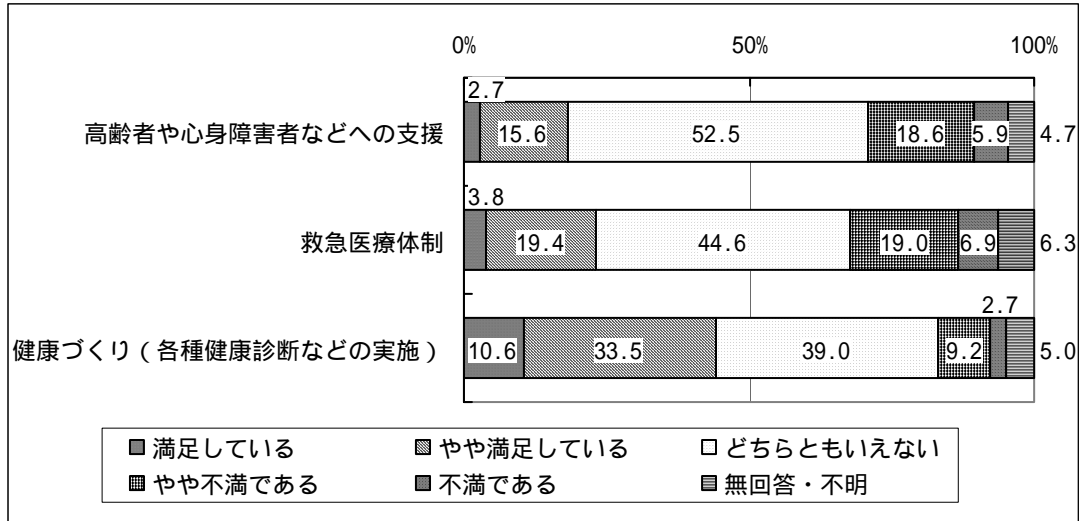
居住環境に関する満足度を尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」が最も多かったのは「南アルプス市の住みやすさ」(52.6%)であった。次いで、「現在の生活や暮らし」(45.6%)、「ごみの収集方法や収集回数」(42.3%)の順であった。これら3項目では、「満足意向」が「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満意向」を上回っている。

一方、「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満意向」が最も多かったのは「バスなどの交通機関の便利さ」(61.5%)であった。次いで、「下水道などの生活排水施設の整備」(41.3%)、「道路の整備」(37.8%)、「買い物の便利さ」(37.7%)の順であった。これら4項目では、「不満意向」が「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」を上回っている。

なお、「どちらともいえない」が最も多かったのは「現在の生活や暮らし」（30.5％）であった。次いで、「下水道などの生活排水施設の整備」（29.6％）、「南アルプス市の住みやすさ」（29.0％）の順であった。

問 2 4 - イ 満足度 (医療・福祉)

図表 2 4 - イ 満足度 (医療・福祉) (S A) (N=859)



[調査結果]

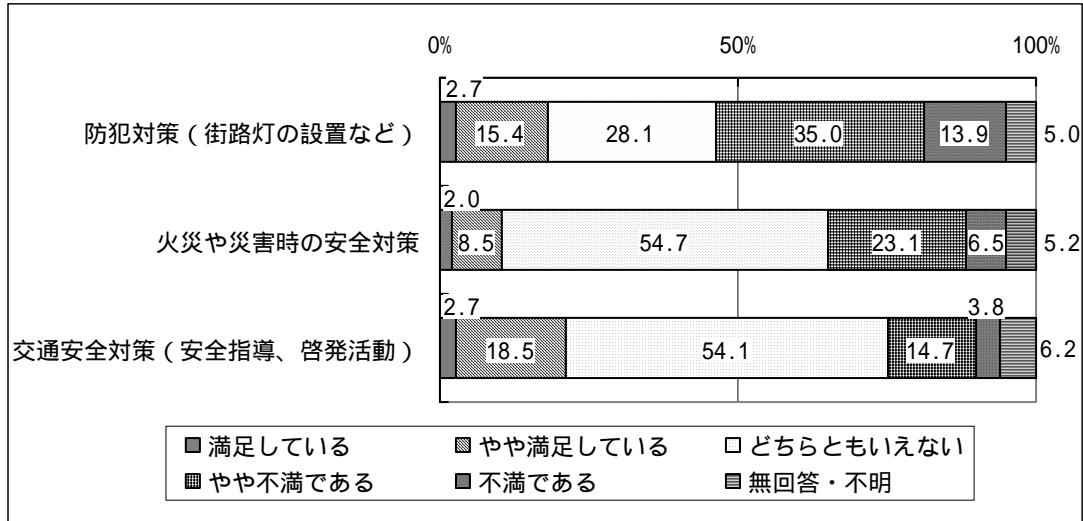
医療・福祉に関する満足度を尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」が最も多かったのは「健康づくり (各種健康診断などの実施)」(44.1%)であった。この項目では、「満足意向」(44.1%)が「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」(11.9%)を上回っている。

一方、「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」が最も多かったのは「救急医療体制」(25.9%)であった。次いで、「高齢者や心身障害者などへの支援」(24.5%)であった。これら2項目では、「不満足意向」が「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」を上回っている。

なお、「どちらともいえない」が3つの項目全てで約4割以上を占めていた。最も多かったのは「高齢者や心身障害者などへの支援」(52.5%)であった。次いで、「救急医療体制」(44.6%)、「健康づくり (各種健康診断などの実施)」(39.0%)の順であった。

問 2 4 - ウ 満足度 (安全)

図表 2 4 - ウ 満足度 (安全) (S A) (N=859)



[調査結果]

安全に関する満足度を尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」が最も多かったのは「交通安全対策 (安全指導、啓発活動)」(21.2%)であった。この項目では、「満足意向」(21.2%)が「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」(18.5%)を上回っている。

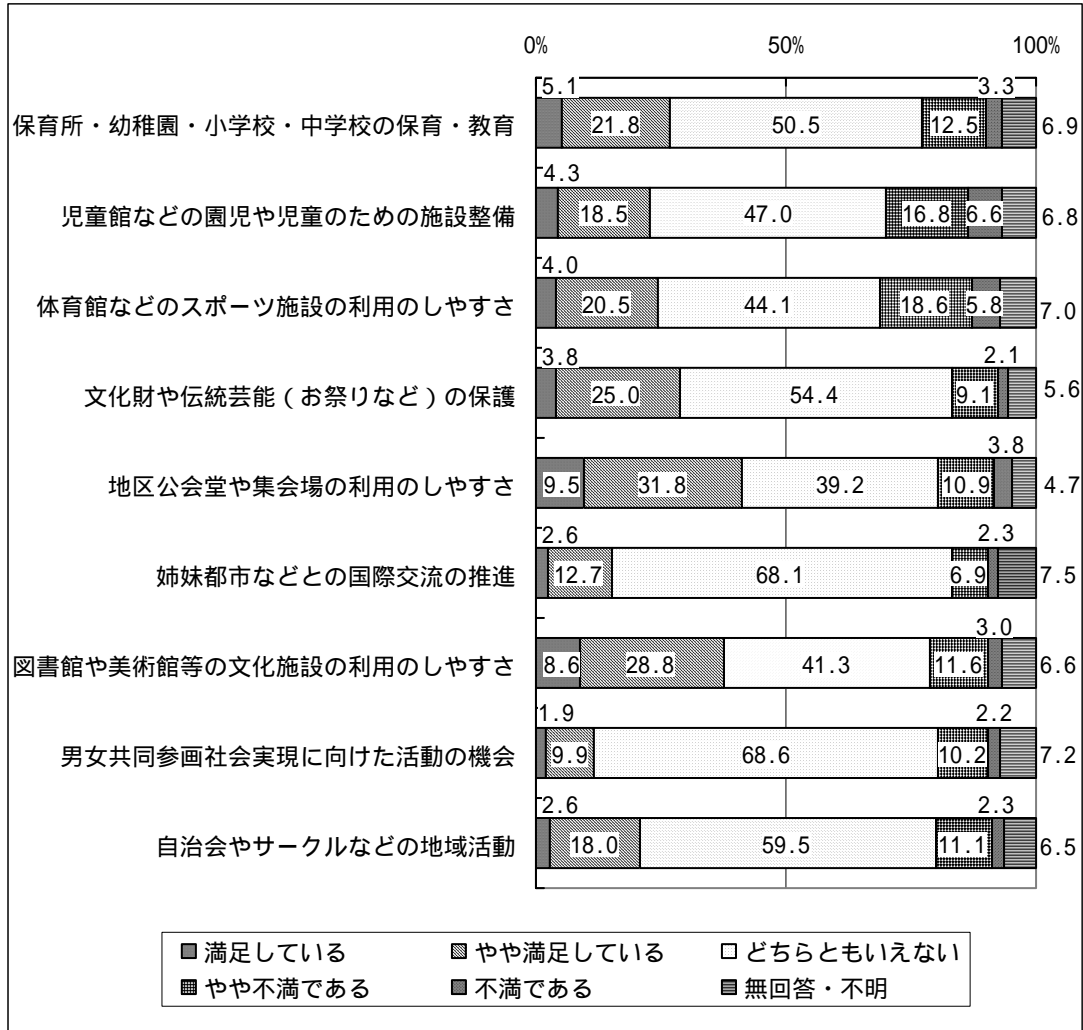
一方、「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」が最も多かったのは「防犯対策 (街路灯の設置など)」(48.9%)であった。次いで、「火災や災害時の安全対策」(29.6%)であった。これら2項目では、「不満足意向」が「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」を上回っている。

また、「どちらともいえない」が最も多かったのは「火災や災害時の安全対策」(54.7%)であった。次いで、「交通安全対策 (安全指導、啓発活動)」(54.1%)で、これら2項目ではその値が5割を超えている。

なお、「不満足意向」が約5割であった「防犯対策 (街路灯の設置など)」では「どちらともいえない」が28.1%であった。

問 2 4 - 工 満足度 (教育・地域活動)

図表 2 4 - 工 満足度 (教育・地域活動) (S A) (N=859)



[調査結果]

教育・地域活動に関する満足度を尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」が最も多かったのは「地区公会堂や集会場の利用のしやすさ」(41.3%)であった。次いで、「図書館や美術館等の文化施設の利用のしやすさ」(37.4%)、「文化財や伝統芸能(お祭など)の保護」(28.8%)、「保育所・幼稚園・小学校・中学校の保育・教育内容」(26.9%)、「体育館などのスポーツ施設の利用のしやすさ」(24.5%)の順であった。これら5項目では、「満足意向」が「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満意向」を上回っている。

一方、「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」が最も多かったのは「体育館などのスポーツ施設の利用のしやすさ」（24.4％）であった。次いで、「児童館などの園児や児童のための施設整備」（23.4％）、「保育所・幼稚園・小学校・中学校の保育・教育内容」（15.8％）、「地区公会堂や集会場の利用のしやすさ」（14.7％）、「図書館や美術館等の文化施設の利用のしやすさ」（14.6％）の順であった。これら5項目のうち、「不満足意向」が「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」を上回っていたのは「児童館などの園児や児童のための施設整備」（23.4％）だけである。

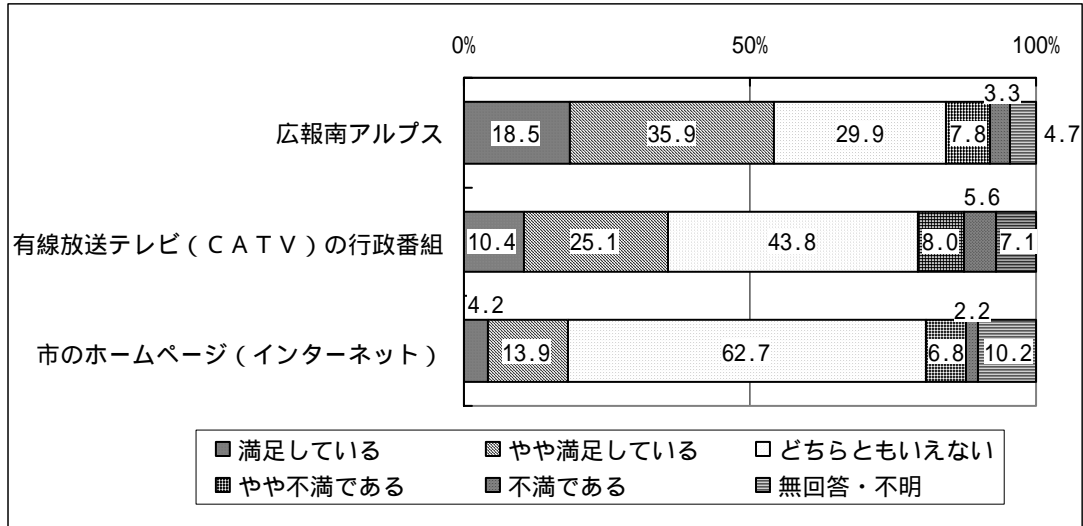
また、「男女共同参画社会実現に向けた活動の機会」については、「不満足意向」（12.4％）が「満足意向」（11.8％）よりも多かった。

なお、「どちらともいえない」は全9項目いずれにおいても約4割以上あった。

最も多かったのは「男女共同参画社会実現に向けた活動の機会」（68.6％）であった。次いで、「姉妹都市などとの国際交流の推進」（68.1％）、「自治会やサークルなどの地域活動」（59.5％）、「文化財や伝統芸能（お祭など）の保護」（54.4％）、「保育所・幼稚園・小学校・中学校の保育・教育内容」（50.5％）の順であった。これら5項目では、その値が5割を超えている。

問 2 4 - オ 満足度 (行政情報)

図表 2 4 - オ 満足度 (行政情報) (S A) (N = 8 5 9)



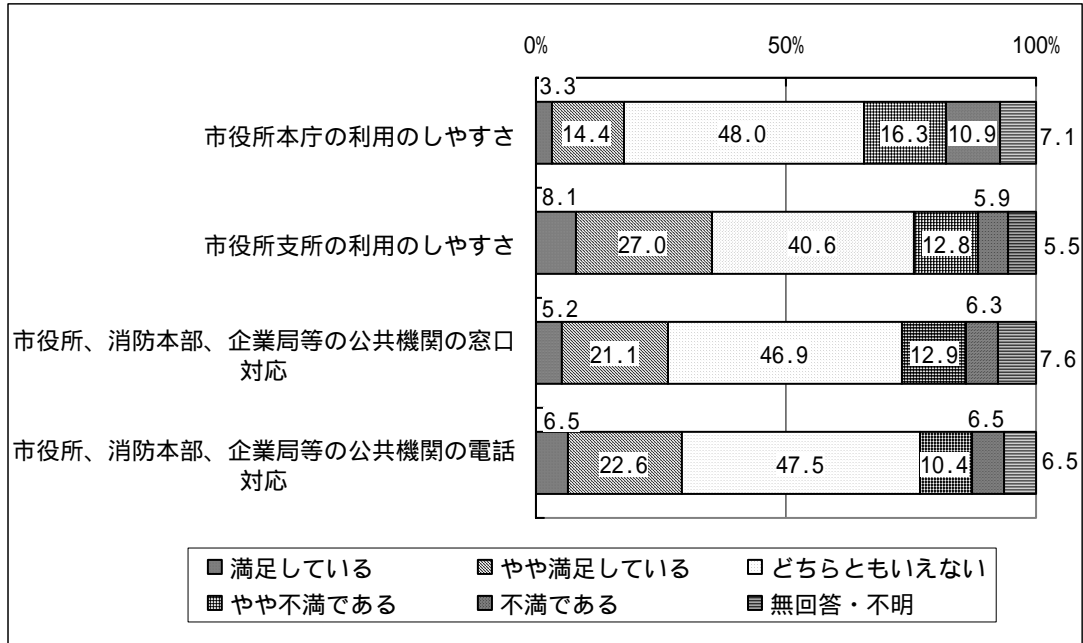
[調査結果]

行政情報に関する満足度を尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」が最も多かったのは「広報南アルプス」(54.4%)であった。次いで、「有線放送テレビ (CATV) の行政番組」(35.5%)、「市のホームページ (インターネット)」(18.1%)の順であった。これら3項目では、「満足意向」が「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満意向」を上回っている。

なお、「どちらともいえない」が最も多かったのは「市のホームページ (インターネット)」(62.7%)であった。次いで、「有線放送テレビ (CATV) の行政番組」(43.8%)、「広報南アルプス」(29.9%)の順であった。

問 2 4 - カ 満足度 (行政サービス)

図表 2 4 - カ 満足度 (行政サービス) (S A) (N=859)



[調査結果]

行政サービスに関する満足度を尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」が最も多かったのは「市役所支所の利用のしやすさ」(35.1%)であった。次いで、「市役所、消防本部、企業局等の公共機関の電話対応」(29.1%)、「市役所、消防本部、企業局等の公共機関の窓口対応」(26.3%)の順であった。これら3項目では、「満足意向」が「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」を上回っている。

一方、「不満である」と「やや不満である」を合わせた「不満足意向」が最も多かったのは「市役所本庁の利用のしやすさ」(27.2%)であった。この項目では、「不満足意向」(27.2%)が「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足意向」(17.7%)を上回っている。

なお、「どちらともいえない」は全4項目いずれも4割を超えていた。最も多かったのは「市役所本庁の利用のしやすさ」(48.0%)であった。次いで、「市役所、消防本部、企業局等の公共機関の電話対応」(47.5%)、「市役所、消防本部、企業局等の公共機関の窓口対応」(46.9%)、「市役所支所の利用のしやすさ」(40.6%)の順であった。

総合計画策定に関する市民アンケート調査票

平成15年10月6日

実施機関：南アルプス市企画部企画課

委託機関：財団法人 山梨総合研究所

ご記入にあたりましては、次の点にご留意のほどお願い申し上げます

1 記入者

このアンケートは封筒の宛名の方がお答えください。

2 記入方法

- ・ ご記入は鉛筆または黒もしくは青のボールペンで、はっきりとお願いします。
- ・ 回答項目が用意されている質問では、あてはまる項目についている数字をつけてください。
- ・ () は一つまで、() は二つまでなど、それぞれの質問で指定された数の印をつけてください。
- ・ 「その他」の項目を選択された場合は、お手数ですが の他に () 内にその内容をご記入ください。

3 提出

アンケートのご記入が終わりましたら、同封してある返信用封筒に入れ、

10月31日(金)までに ご返送をお願いします。

4 問い合わせ先

(調査の趣旨について)

南アルプス市役所企画部企画課

(担当：竹野、塚原、依田)

〒400-0395 南アルプス市小笠原376

電話 055-282-1111

内線 1107, 1108

(調査票の記入について)

財団法人 山梨総合研究所

(担当：山本、新井、荻原)

電話 055-221-1020(代表)

問 4 あなたは、地域（区や組等）の役割をどのように考えますか。次のうちから当てはまるものすべてを選んでください。（はいくつでも）

- 1．地域の共有財産や集会施設などの維持管理を行う
- 2．地域の清掃や健康づくりなどの活動の中心となる
- 3．祭りなどの地域の行事を行い住民の親ぼくを囿る
- 4．地域の文化や伝統芸能等を守り後代に受け伝える
- 5．ごみ処理や子育て支援などの行政サービスを市と協働・協力して行う
- 6．市役所からの「お知らせ」などの情報を地域の住民に伝える
- 7．住民の意見や要望を取りまとめて、市役所や市議会に働きかける
- 8．地域それぞれの問題を自分達で解決する
- 9．自主防災組織として協力し助けあう
- 10．地域に役割はない
- 11．その他（）

問 5 あなたは、どのような活動に参加したいですか。次のうちから参加してみたい（これからも続けていきたい）活動をすべてを選んでください。（はいくつでも）

- 1．地域で行う運動会やお祭などの行事
- 2．住みよいまちづくりに役立つ清掃や美化活動など
- 3．災害時などのボランティアでの救援活動
- 4．高齢者や障害者への手助けや施設での手伝いなど
- 5．地域で取り組む子育て支援
- 6．リサイクルや自然保護などの環境保護
- 7．文化財保護やスポーツなどの指導・協力など
- 8．国際交流や国際貢献
- 9．特定の分野に限らず自分の技能等が活用できるボランティア活動
- 10．無尽会や同好会などの趣味でおこなう自主的な活動
- 11．参加したくはない
- 12．その他（）

問 6 あなたは、市民がまちづくりに参加するためには何が重要だと思いますか。
次のうちから選んでください。(　　 は二つまで)

- 1 . まちづくりに対する住民自身の熱意
- 2 . 住民の中に活動のリーダーがいること
- 3 . 活動や情報交換の拠点があること
- 4 . 情報や参加に関する窓口や支援センター（職員の派遣制度や専門技術や知識の提供）などが市役所にあること
- 5 . 団体やサークルなどが組織されていること
- 6 . 活動に必要な機材の貸し出しや活動費などの支援
- 7 . 活動中の事故等に対する保険制度の整備
- 8 . 市の計画策定や実施に携わる機会や情報提供の充実
- 9 . その他（ ）

次に福祉や医療などについてお聞きします

問 7 あなたは市民が幸せに暮らしていけるためには、特にどのようなことを充実すべきだと思いますか。(ア)健康づくり(イ)母子・児童福祉(ウ)高齢者福祉(エ)障害者福祉の項目からそれぞれ二つまで選んでください。

(ア)健康づくりに関すること(　　 は二つまで)

- 1 . 健康づくりに関する栄養講座などの健康づくり事業の充実
- 2 . かぜの予防法等の情報提供や健康相談事業の充実
- 3 . 健康診断などによる病気の早期発見・早期予防事業の充実
- 4 . リハビリ訓練などによる身体機能低下防止の事業
- 5 . 地域の健康づくりを育成支援する事業の充実
- 6 . 保健センターなどの健康づくり施設の充実
- 7 . その他（ ）

(イ)母子・児童福祉に関すること(　　 は二つまで)

- 1 . 保育所の整備・充実
- 2 . 延長保育・未満児などの保育サービスの充実
- 3 . 子育てに悩む親への相談や生活指導体制の充実
- 4 . 子育て支援や一時預かりなどの支援サービスの充実
- 5 . 自宅で受けられる家事・育児の援助サービス
- 6 . 児童館などの施設整備の充実
- 7 . その他（ ）

問 9 あなたは地震や火災などの防災対策について、どのようなことを積極的に進めてほしいと思いますか。次のうちから選んでください。(　は二つまで)

- 1 . I T (情報通信技術) 等を活用した防災情報の提供
- 2 . 防災相談の充実を図り防災への意識を高める
- 3 . 地域の防災組織の支援や防災訓練の回数を増やす
- 4 . 災害時に対応できるよう食料や生活必需品の供給体制を整備する
- 5 . 寝泊りできる避難場所や食料の備蓄場所など、防災の拠点を整備する
- 6 . 小・中学校などの教育施設や公共施設を災害に強い建物とする
- 7 . 消防署が行う応急手当の方法や救命救急講習などを充実する
- 8 . 防火水槽や消火栓などの消防用施設を充実する
- 9 . 避難や輸送のための道路や橋を整備する
- 10 . その他 ()

次に生涯学習や学校教育などについてお聞きします

問 1 0 あなたは、生涯学習活動に参加するうえで、市にどのようなことを望みますか。次のうちから選んでください。(　は二つまで)

- 1 . 生涯学習に関する情報の提供や窓口相談の充実
- 2 . 学校の教室 (余剰や特別教室) 施設の開放を行う
- 3 . 働きながら学べる高度で継続的な学習機会の充実
- 4 . 高齢者などの豊富な経験や技術を社会に活かせる場の提供
- 5 . 生涯学習を支えるリーダーやボランティアなどの育成と活用
- 6 . 生涯学習センターや図書館などの施設の充実
- 7 . インターネットを活用し施設の利用申請等ができるようにする
- 8 . 施設の利用時間や手続きを利用しやすいようにする
- 9 . 団体やサークル活動へ情報提供などの支援を行う
- 10 . その他 ()

問 1 1 あなたは、スポーツ活動に対して市にどのようなことを望みますか。次のうちから選んでください。(　は二つまで)

- 1 . 生涯スポーツに関する情報の提供
- 2 . スポーツ教室等の内容や機会の充実
- 3 . 市民体育祭や市民スポーツ大会の開催
- 4 . スポーツ指導者の育成と活用
- 5 . 総合型地域スポーツクラブの設立と支援
- 6 . 新たなスポーツ施設の整備
- 7 . 既存スポーツ施設の整備と改修
- 8 . 体育施設をインターネットで利用手続きができるようにする
- 9 . その他 ()

問 1 2 子どもたちを取り巻く教育環境が変化しています。あなたは、これから市に対してどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次のうちから選んでください。(　は二つまで)

- 1 . 少人数教育（少人数学級・少人数指導）の推進
- 2 . 生きる力を育てる総合的な学習の充実
- 3 . 特色のある学校教育の推進と充実
- 4 . 社会生活のル - ルを身につけ命の大切さなどがわかる心の教育の充実
- 5 . コンピューターやインターネットなど時代に即した教育内容の充実
- 6 . 個性や才能を伸ばす教育の充実
- 7 . 国際化を視野に入れた教育（英会話・交流等）内容の充実
- 8 . 縦割りのグループ活動等を通じて子ども同士のつながりを深める
- 9 . 環境教育や福祉教育を含め地域の人たちとの交流の場を設ける
- 10 . 中高一貫教育など上位教育機関との連携を強める
- 11 . その他 ()

次に公共施設の整備などについてお聞きします

問 1 3 あなたは、市内の道路について日ごろ、特に良くしてほしいと思っていることはなんですか。次のうちから選んでください。(　　は一つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 . 幹線道路の建設や整備 | 2 . 生活道路の整備や補修 |
| 3 . 歩道の設置 | 4 . 交差点の改良 |
| 5 . 街路灯の設置 | 6 . 特にない |
| 7 . その他 (|) |

問 1 4 あなたは、今後の水道事業について特にどのようなことを望みますか。次のうちから選んでください。(　　は一つ)

- 1 . 余裕をもった水源と安全な水質の確保
- 2 . 地震などの災害に強い計画的な水道施設の整備
- 3 . 水道料金の均一化
- 4 . 水に対する情報公開や利用者の意見を反映した事業の実施
- 5 . 効率的な事業経営と施設整備
- 6 . その他 (

問 1 5 あなたが、特に力を入れて整備・充実して欲しいと思う公共的な施設は何ですか。次のうちから選んでください。(　　は五つまで)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 . 保育所・幼稚園 | 2 . 小・中学校 |
| 3 . 高校 | 4 . 短大・大学等 |
| 5 . 市役所本庁舎及び支所 | 6 . 消防署施設 |
| 7 . 生涯学習施設 | 8 . 遊歩道・散歩道 |
| 9 . 道水路及び河川 | 10 . ごみ関係の施設 |
| 11 . 学童保育施設 | 12 . 上水道 |
| 13 . 高齢者・障害者福祉施設 | 14 . 下水道 |
| 15 . 公園・広場・遊び場 | 16 . 消火栓等の防災施設 |
| 17 . 街灯等の交通安全施設 | 18 . 公営住宅 |
| 19 . 温泉等保養施設 | 20 . 観光やレジャー宿泊施設 |
| 21 . スポーツ施設 | 22 . 公民館や集会場 |
| 23 . 図書館や美術館等の文化施設 | 24 . バス等の公共交通機関 |
| 25 . その他 (|) |

次に市の土地利用についてお聞きします

問 1 6 あなたは、土地利用と規制(条例や法律等により土地の使い方を制限する)の関係についてどのように考えますか。次のうちから選んでください。
(一 は一つ)

- 1 . 全体的に規制を強めるべき
- 2 . 住宅地、商工業用地、農地等を特定して規制を強めるべき
- 3 . 現状のままでよい
- 4 . 住宅地、商工業用地、農地等を特定して規制を弱めるべき
- 5 . 全体的に規制を弱めるべき

問 1 7 農業後継者の不足や高齢化などにより農地の遊休化が進んでいます。あなたは、農地の保全と宅地の供給について、どのようにお考えですか。次のうちから選んでください。(一 は一つ)

- 1 . 農業生産のほか景観や防災のためすべての農地を守るべきである
- 2 . 良好な住環境や生活の利便性・安全性も重要なので、優良農地は保全するが、それ以外の農地は宅地化されてもやむを得ない
- 3 . 農業後継者が少ないため、優良農地も含め農地は宅地化されてもやむを得ない
- 4 . その他 ()

次に産業の振興に関してお聞きします

問 1 8 あなたは、これから市はどのような産業に力を入れていくべきだと思えますか。次のうちから選んでください。(二 は二つ)

- 1 . 農道や果樹園などの基盤整備や担い手育成などによる農業の振興
- 2 . 南アルプス連峰、歴史的遺産、観光農園などを活用した観光の振興
- 3 . 森林の育成や特産品開発などによる林業の振興
- 4 . 大型のスーパーマーケットの誘致などによる商業の振興
- 5 . 今ある商店街の活性化による商業の振興
- 6 . 先端技術を持った優良な企業の誘致等による工業の振興
- 7 . 地場の企業や地域の伝統技術を活かした工業の振興
- 8 . 今のままでよいので、産業の振興を図る必要はない
- 9 . その他 ()

問 19 本市には名前の由来となった南アルプス連峰など全国的に有名な観光資源などがあります。今後これらを活用した観光の振興を図るには、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次のうちから選んでください。(　は三つまで)

- 1 . 目的地までつながる道路や新たな交通手段の整備
- 2 . 宿泊施設の整備
- 3 . 周遊コース・ルートの設定と P R
- 4 . テレビや新聞・雑誌を使った宣伝活動の強化
- 5 . 来訪者をもてなす体制づくり
- 6 . 大規模イベントの誘致や企画・開催
- 7 . 景観にそぐわない建物や看板などの規制
- 8 . 博物館などの集客施設の整備
- 9 . 市民農園などの農業体験施設の整備
- 10 . 特色ある食の提供施設 (食堂やレストラン) の整備
- 11 . 農産物や特産品などが手に入る施設の整備
- 12 . 特産品、民芸品など魅力ある南アルプス市の地域ブランドづくり
- 13 . その他 ()

最後にこれからのまちづくりに関してお聞きします

問 20 これまで行政は、人口の増加を前提とした計画策定を行ってきましたが、今後、日本の人口は減少傾向になると予測されています。あなたは、これからの市の人口はどうあるべきだと思いますか。次のうちから選んでください。(　は一つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 . 大きく増加した方がいい | 2 . やや増加した方がいい |
| 3 . 現状のままでいい | 4 . やや減少した方がいい |
| 5 . 大きく減少した方がいい | 6 . どうでもいい |

問 21 今後、あなたは、どのような方法で市政に参加したいと思いますか。次のうちから選んでください。(　は二つまで)

- 1 . 市が実施する各種の世論調査への回答
- 2 . 公募による審議会等の委員
- 3 . 感想などを市に報告するモニター制度
- 4 . 市長への手紙などによる意見・提案制度
- 5 . 市長と市民との懇談会や対話集会への参加
- 6 . 市民主催のまちづくり会議などの市民活動
- 7 . 事業実施のための実行委員会
- 8 . その他 ()

問24 あなたは、次の(1)から(30)までの項目について、どの程度満足と感じていますか。記載例を参考にそれぞれについて一つだけ選んでください。
(はそれぞれ一つ)

		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
～記入例～(1)住宅の広さ		1		3	4	5
居住環境	(1) 道路の整備	1	2	3	4	5
	(2) 下水道などの生活排水施設の整備	1	2	3	4	5
	(3) 公園や子どもの遊び場	1	2	3	4	5
	(4) ごみの収集方法や収集回数	1	2	3	4	5
	(5) バスなどの交通機関の便利さ	1	2	3	4	5
	(6) 買い物の便利さ	1	2	3	4	5
	(7) 南アルプス市の住みやすさ	1	2	3	4	5
	(8) 現在の生活や暮らし	1	2	3	4	5
医療・福祉	(9) 高齢者や心身障害者などへの支援	1	2	3	4	5
	(10) 救急医療体制	1	2	3	4	5
	(11) 健康づくり(各種健康診断などの実施)	1	2	3	4	5
安全	(12) 防犯対策(街路灯の設置など)	1	2	3	4	5
	(13) 火災や災害時の安全対策	1	2	3	4	5
	(14) 交通安全対策(安全指導、啓発活動)	1	2	3	4	5
教育・地域活動	(15) 保育所・幼稚園・小学校・中学校の保育・教育内容	1	2	3	4	5
	(16) 児童館などの園児や児童のための施設整備	1	2	3	4	5
	(17) 体育館などのスポーツ施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	(18) 文化財や伝統芸能(お祭など)の保護	1	2	3	4	5
	(19) 地区公会堂や集会場の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	(20) 姉妹都市などとの国際交流の推進	1	2	3	4	5
	(21) 図書館や美術館等の文化施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	(22) 男女共同参画社会実現に向けた活動の機会	1	2	3	4	5
(23) 自治会やサークルなどの地域活動	1	2	3	4	5	
行政情報	(24) 広報南アルプス	1	2	3	4	5
	(25) 有線放送テレビの行政番組	1	2	3	4	5
	(26) 市のホームページ(インターネット)	1	2	3	4	5
行政サービス	(27) 市役所本庁の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	(28) 市役所支所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
	(29) 市役所、消防本部、企業局等の公共機関の窓口対応	1	2	3	4	5
	(30) 市役所、消防本部、企業局等の公共機関の電話対応	1	2	3	4	5

